



スーパーSQVⅣキット 取扱説明書

取付けは必ず専門業者に依頼してください。本書はご使用前に必ずお読みください。

本製品は、下記に示す車輛のみ取付可能です。

商品名	スーパーSQVⅣキット		スーパーSQVⅣリターンキット
用途	自動車部品		
コードNo.	71008-KN030		71002-AN003
メーカー・車種	ニッサン フェアレディZ 3BA-RZ34, 5BA-RZ34		
エンジン型式	VR30DDTT		
年 式	2022年4月～		
備 考			

○適合車輛の年式は2024年4月現在までのものです。

2024年4月以降に登録された車輛への適合については、お買上の販売店までお問い合わせください。

取説品番 E04531-N49150-00 2024/4/15 作成 Ver. 3-1.01 (禁無断複写、転載) (株)エッチ・ケー・エス

はじめに

- この度はHKSスーパーSQVⅣキットをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

取付けは必ず専門業者に依頼し、取付け終了後は本書に記載されている内容を守り安全にご使用ください。

- HKSスーパーSQVⅣは、ターボチャージャー車のスロットルバルブ急閉時にチャンバパイプ内に発生する余剰空気を制御する部品です。

バルブ作動時にチャンバパイプの空気が抜ける音がしますが異常ではありません。また車種・仕様によって音質・音量が異なりますのであらかじめ御了承ください。

本書は取付けを行う前に必ずお読みください。

日本国内では、ブローオフ吐出空気を大気開放する状態での取付けは省令に定める道路運送車両法に適合しません。一般公道でのご使用は整備不良車運行で罰せられる事があります。
一般公道ではブローオフ吐出空気をサクションリターンさせてご使用ください。

- 本書は本製品を安全に取付けていただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を記載しています。
- お客様又は第三者が本製品及び付属品を誤使用したことにより受けた損害については、当社では一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を使用して生じた損害や、脱着工賃およびそれに付随する費用、また、自動車を使用することができないことによる損失等につきましては、一切の補償はいたしかねます。
- 本製品はノーマル車輛を基準に製作されております。ノーマル車輛以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
- 本製品は日本国内での使用を目的に設計されたものです。
This product is designed for use in Japan only.
- 本製品の仕様は付属品を含め、改良のため予告なく変更をすることがあります。
- 本書は予告なく改版することがありますので本製品と本書の整合をご確認ください。
- 消耗部品や紛失部品及び本書のご注文はお買上の販売店までお問い合わせください。部品を発注する際は、商品名・コードNo.・車輛型式・エンジン型式を注文先にお伝えください。

本書では下記のような記号を使用し、お客様及び作業員への危険レベルを示しています。



警告

作業員又は使用者が死亡、又は重傷を負う可能性がある場合



注意

作業員又は使用者が傷害を負う危険が想定される場合（人損）

拡大物損の発生が想定される場合

（拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害〔例えば、車輛破損及び焼損〕）

警告

●電気ショートによる電装部品の破損及び焼損・火災を防止するために、次のことを守ってください。

- ・バッテリーのマイナス端子のターミナルを外してから作業を行ってください。
- ・コネクタを外すときは、断線しないようにコネクタを持って外してください。

注意

●本製品の誤使用及び分解は絶対に行わないでください。

- ・誤使用及び分解したことにより、最悪の場合車輛が壊れる恐れがあります。
- ・本来の性能を損なう恐れがあります。

●作業を始める前にエンジンルーム内の温度が約 40℃位（手で触れて熱くない程度）に下がっていることを確認してください。

- ・火傷する恐れがあります。

●パイプ等に異物が入らないようにウエス等をかけておいてください。

- ・異物がエンジンに入りエンジンが破損する恐れがあります。

●キットの構成部品をパーツリストに記載してあります。取付け前に異品、欠品の無いことを確認してください。

●ノーマルパーツの取付け取外しはメーカー発行の整備書をよく読んでから行ってください。整備書がお手元にない場合は、メーカーにてご購入ください。

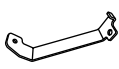
●本製品の取扱いは慎重に行ってください。落としたり、強いショックを与えないでください。取付け不良や故障の原因になります。

●ボルト、ナット類は適切な工具で確実に締付けてください。必要以上に締付けを行うと、ボルトのねじ部が破損します。

●取付け作業のため、一時的に取外すノーマルパーツは破損又は紛失しないように保管してください。又、ノーマルパーツを取付ける際は、間違えて取付けないように取外す部品にはマーキングしてください。

パーツリスト

スーパー SQV IVキット 71008-KN030

No	品名	数	形状	備考	No	品名	数	形状	備考	No	品名	数	形状	備考
1	ブローオフ アッセンブリ RH	1			13	A/C パイプ ステー	1			25	ホルダー クリップ	2		大
2	ブローオフ アッセンブリ LH	1			14	ウォーター ライン ステー	1			26	ホルダー クリップ	5		小
3	ブローオフ ホース	2			15	ボルト	1		M8-20	27	C C クランプ	1		
4	ホースバンド	4		#36	16	ボルト	1		M6-15	28	クッション テープ	1		
5	ホースバンド	2		#20	17	ボルト	5		M6-12	29	スポンジ テープ	2		
6	ホース クランプ	2		φ 12	18	キャップ ボルト	1		M6-15	30	タイラップ	10		大
7	ホース クランプ	1		φ 6	19	ボタンボルト	1		M6-20	31	タイラップ	10		小
8	ブローオフ ステー RH No. 1	1			20	ジョイント ホース	1			32	保護チューブ	1		L=150
9	ブローオフ ステー LH No. 1	1			21	ホース	1		φ 4 L=2,000	33	保護チューブ	1		L=80
10	ブローオフ ステー RH No. 2	1			22	ジョイント パイプ	1		φ 6 - φ 4	34	保護チューブ	1		L=70
11	ブローオフ ステー LH No. 2	1			23	スリーウェイ	1		φ 4 - φ 4 - φ 4					
12	フューエル ホース ステー	1			24	エアフィルタ	1							

スーパー SQV IV リターンキット 71002-AN003

No	品名	数	形状	備考	No	品名	数	形状	備考	No	品名	数	形状	備考
R1	リターン ニップル	2			R4	リターン ホース LH	1			R7	フランジ アダプタ RH	1		
R2	ホース クランプ	4		φ 19	R5	フランジ パイプ RH	1			R8	フランジ アダプタ LH	1		
R3	リターン ホース RH	1			R6	フランジ パイプ LH	1			R9	ボルト	7		M5-15

共通

品名	数	形状	備考	品名	数	形状	備考
取扱説明書	1		日本語版	取扱説明書	1		英語版

取付け方法

1. ノーマルパーツ取外し

- (1) バッテリーのマイナス端子（-）からケーブルターミナルを取外してください。
- (2) ボルト・ナットを外し、タワーバーを取外してください。（図1）



- (3) ボルトを外し、エンジンカバーを前後とも取外してください。（図2）

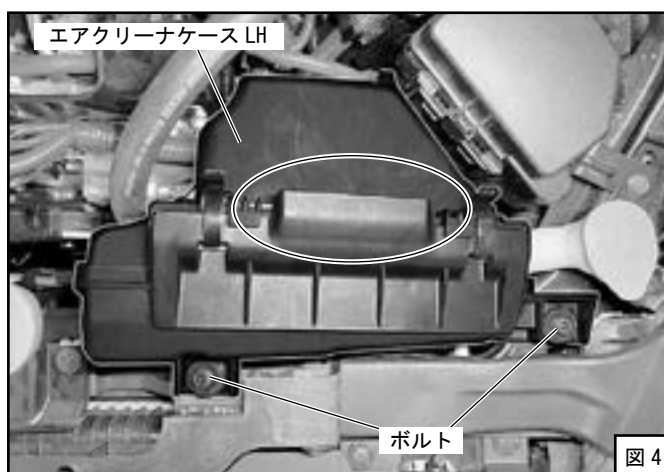


(4) 左右のフードリッジカバーを取外してください。(図3)



(5) エアクリーナケース LH を取外してください。

- 1) ボルト2本を外してください。(図4)
- 2) 図4丸部の取っ手を引き、エアクリーナケース LH を持ち上げてください。(図4)



- 3) マイナスドライバなどの工具を2本使用してサクシオンホースのロックリングの嵌合を外してください。(図5)

アドバイス

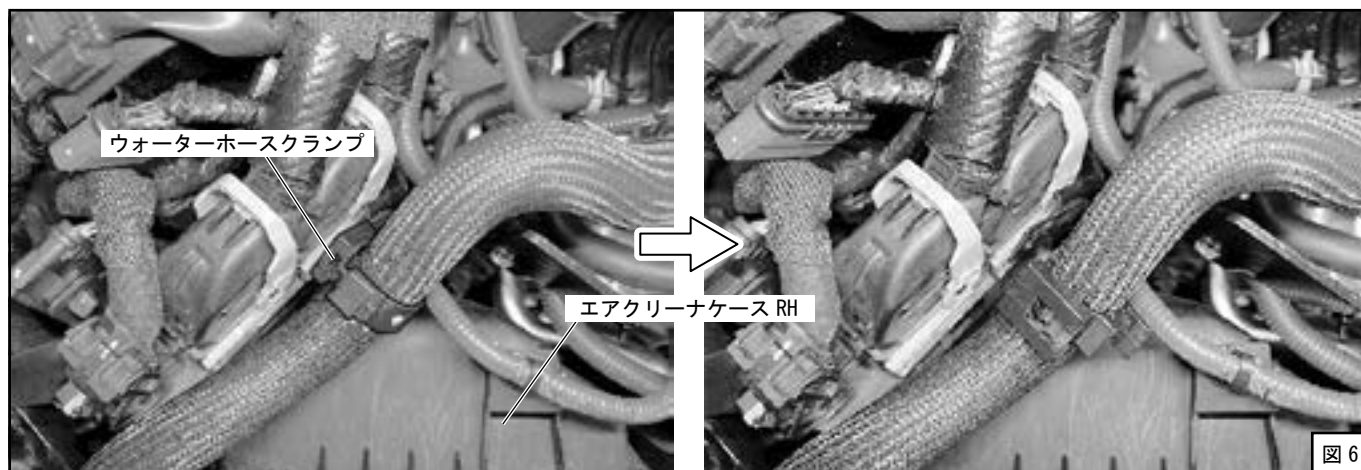
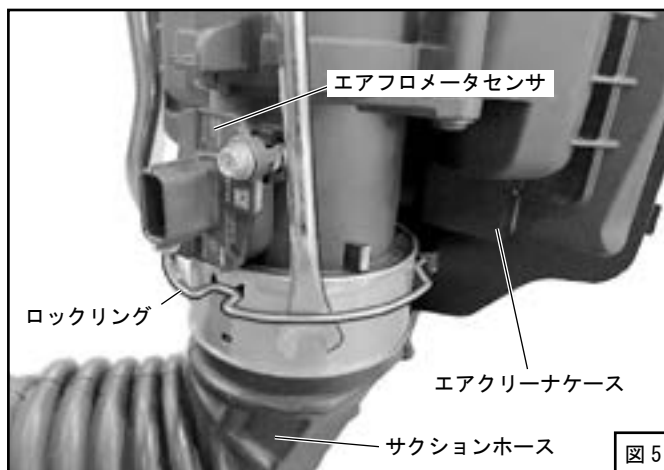
工具はL=400mm程度の長さがあると作業が容易です。

- 4) エアクリーナケース LH をサクシオンホースから取外してください。(図5)
- 5) エアクリーナケース LH からエアフロメータセンサハーネスのクリップを外し、エアフロメータセンサからコネクタを外してください。(図5)
- 6) エアクリーナケース LH を取外してください。

アドバイス

取付け、取外し作業を行う際には、パイプ・ホース類に異物が入らないようにしてください。

- (6) エアクリーナケース RH 後方のウォーターホースクランプをブラケットから取外してください。(図6)



(7) エアクリーナケース RH を取外してください。

- 1) ボルト 2 本を外してください。(図 7)
- 2) 図 7 丸部の取っ手を引き、エアクリーナケース RH を持ち上げてください。(図 7)
- 3) マイナスドライバなどの工具を 2 本使用してサクシオンホースのロックリングの嵌合を外してください。(図 5)

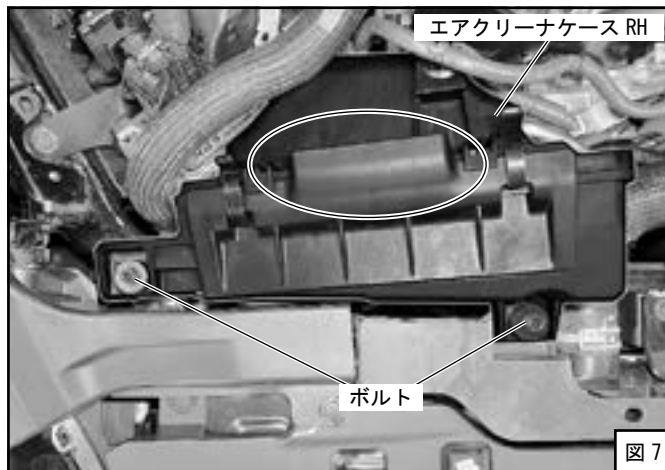
アドバイス

工具は L=400mm 程度の長さがあると作業が容易です。

- 4) エアクリーナケース RH をサクシオンホースから取外してください。(図 5)
- 5) エアクリーナケース RH からエアフロメータセンサハーネスのクリップを外し、エアフロメータセンサからコネクタを外してください。(図 5)
- 6) エアクリーナケース RH を取外してください。

アドバイス

取付け、取外し作業を行う際には、パイプ・ホース類に異物が入らないようにしてください。



2. キットパーツ取付け

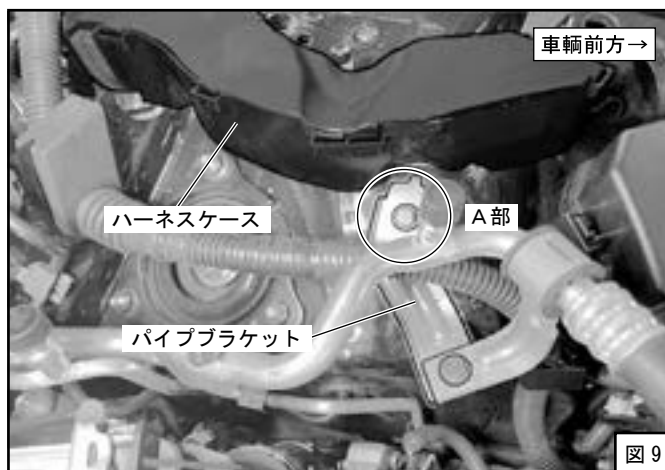
すでにスーパー S Q V IV キットを装着していて、追加でスーパー S Q V IV リターンキットを装着する場合は 9 ページの (14) から作業を行ってください。

車両左側

- (1) ボルト・ナットを外し、ヒューズボックスを自由に移動できるようにしてください。(図 8)
ヒューズボックスを車両から取外す必要はありません。



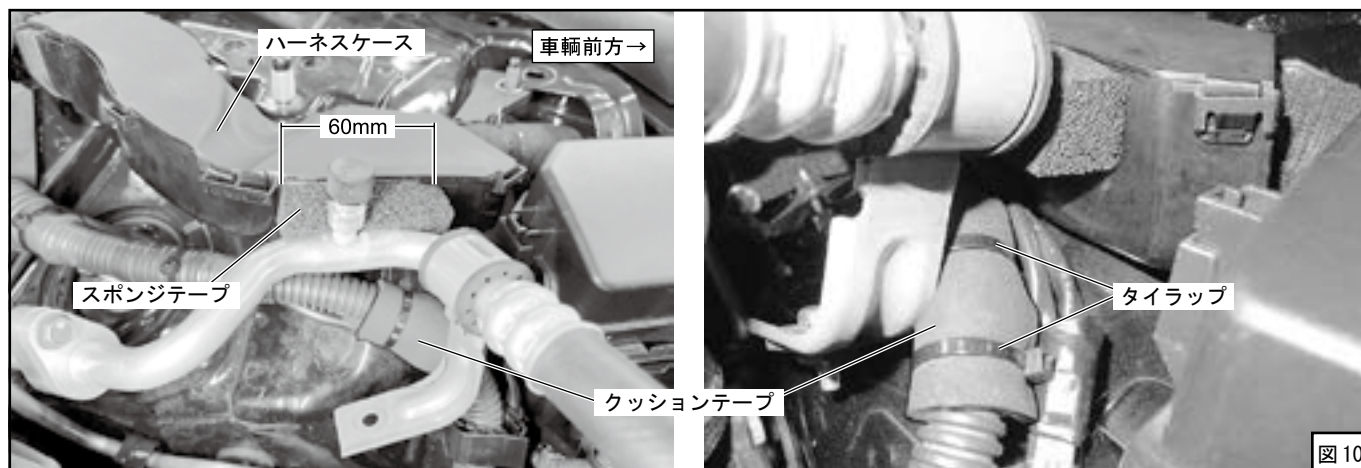
- (2) ハーネスケースを上方に引き抜いてください。(図 9)
ハーネスケースを車両から取外す必要はありません。
- (3) ボルト 2 本を外し、パイプブラケットを取外してください。(ボルトは再使用します) (図 9)



(4) 貼付け箇所を脱脂してハーネスケースに 60mm にカットしたスポンジテープを貼付けてください。(図 10)

(5) **右ハンドル車のみ**

ハーネスにクッションテープを巻き付け、タイラップ (小) 2 本を用いて固定してください。(図 10)



(6) キットパーツの A/C パイプステーを取付けてください。(図 11) (締付けトルク : 4.4N・m {0.44kgf・m})



(7) ハーネスケース、ヒューズボックスを元のように取付けてください。
(ヒューズボックス部ボルト・ナット締付けトルク : 4.4N・m {0.44kgf・m})

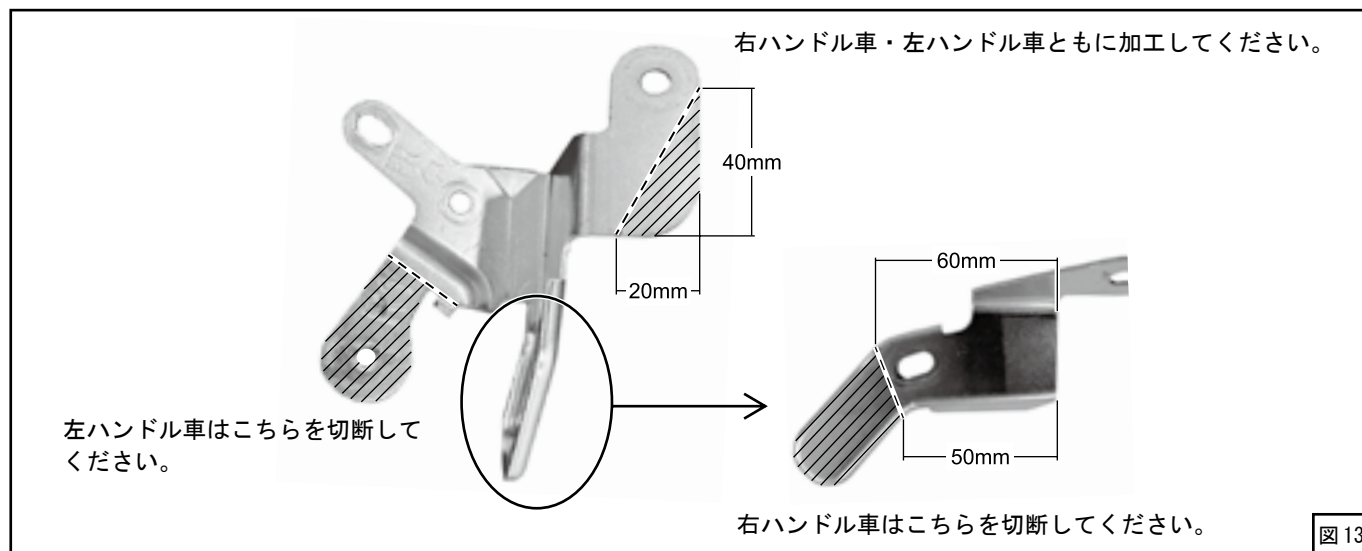
車両右側

(8) エンジンコントロールハーネスを固定しているタイラップをハーネスブラケットから取外してください。
(図 12)

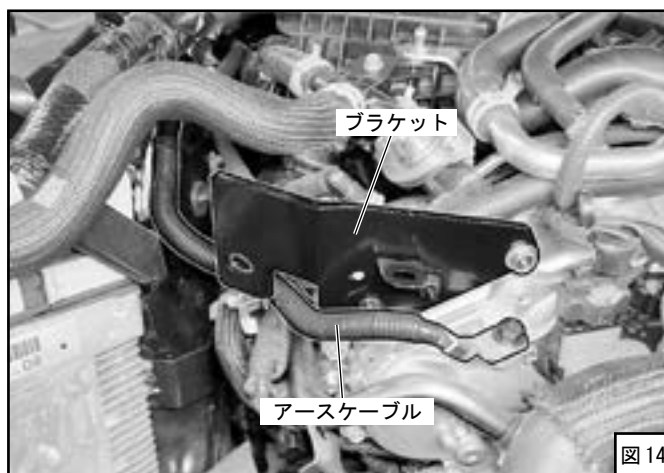
(9) 接続されているアースケーブルを外し、ハーネスブラケットを取外してください。



- (10) ハーネスブラケットを切断加工してください。(図 1 3) 右ハンドル車と左ハンドル車で加工箇所が異なります。
加工後にバリ取り処理と防錆処理を行ってください。



- (11) 加工したハーネスブラケットを元のように取付けてください。(締付けトルク : 4. 4N・m {0. 44kgf・m})
- (12) エンジンコントロールハーネスを元のように固定してください。アースケーブルは固定しません。
- (13) ボルト・クリップを外し、アースケーブルを取外してください。(図 1 4) (ボルトは再使用します)



ここからはブローオフアッセンブリから吐出される空気をリターンするか大気開放するかにより作業内容が変わります。

- ・リターンさせる場合は 9 ページからの作業を行ってください。
- ・大気開放させる場合は 27 ページからの作業を行ってください。

ブローオフアッセンブリから吐出される空気をリターンさせる場合
(スーパーSQVIVリターンキット : 71002-AN003 の同時取付け)

(14) 図14のブラケットを取外してください。(図14)
(ボルトは再使用します)

(15) 取外したブラケットを切断加工してください。(図15)
加工後にバリ取り処理と防錆処理を行ってください。

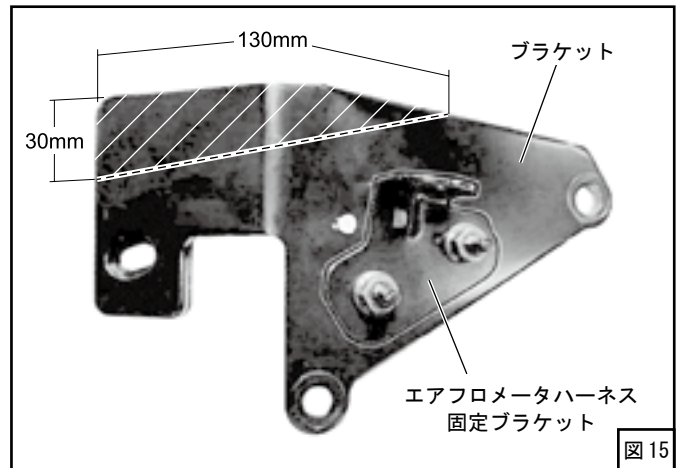


図15

(16) エアフロメータハーネス固定ブラケットをいったん取外し、上下反転して取付けてください。(図15、図16)

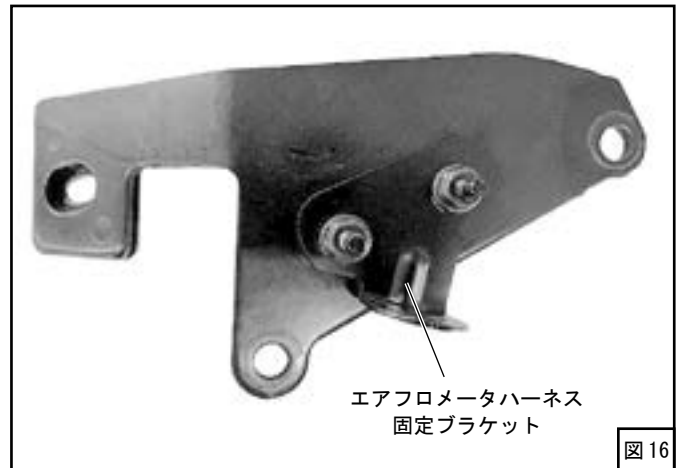
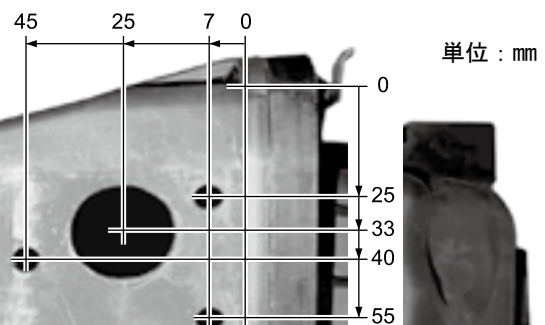


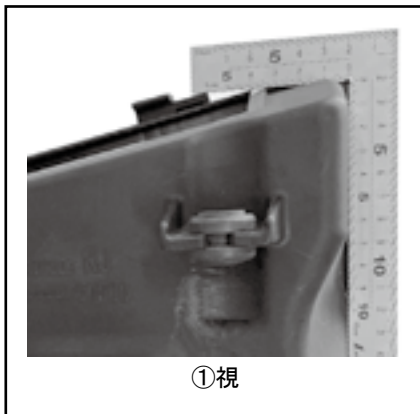
図16

(17) エアクリーナケース RH に穴開け加工してください。
(図17)
バリやカエリのないよう切断面を処理してしてください。

ボルト穴径 : $\phi 6.5$ (3箇所)
パイプ穴径 : $\phi 22$ (1箇所)
下穴 : $\phi 2.5 \sim 3$



① →



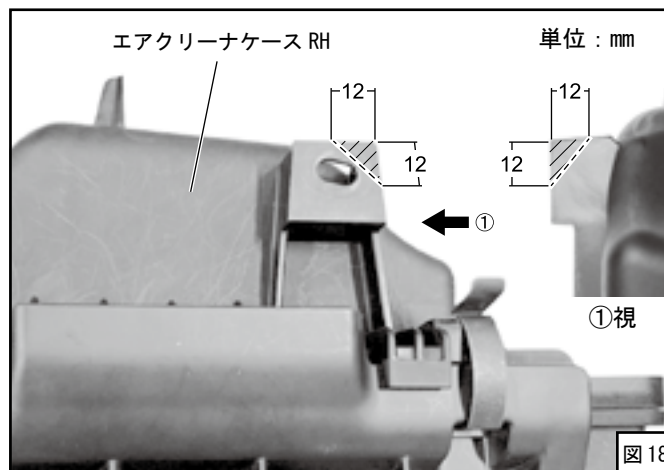
① 視



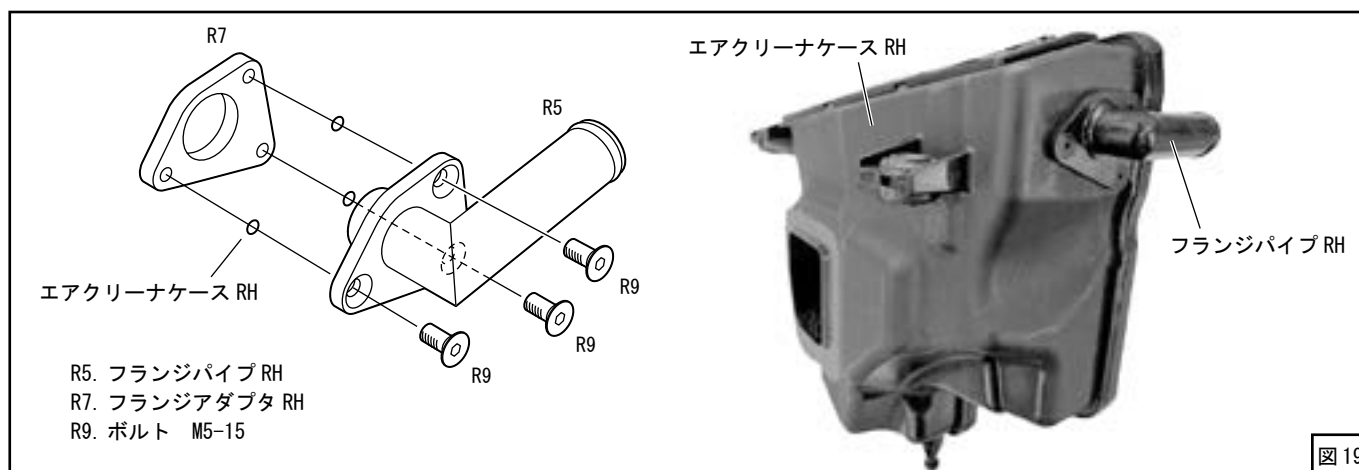
↑
リブの頂点から採寸してください。
溝の中に定規は入れません。

図17

- (18) エアクリーナケース RH を切断加工してください。
 (図 18)
 バリやカエリのないよう切断面を処理してしてください。

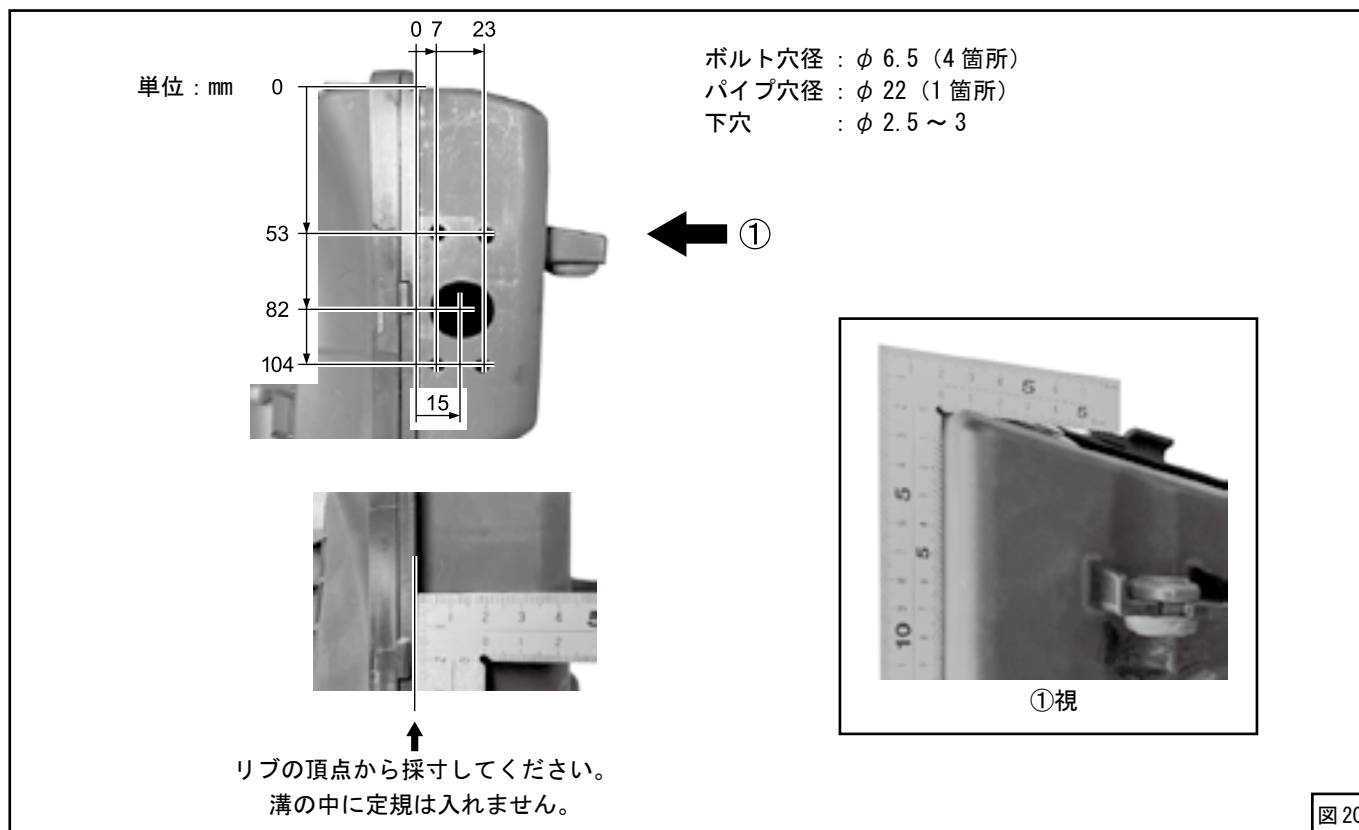


- (19) エアクリーナケース RH に穴開け加工した箇所の内側にフランジアダプタ RH を入れ、エアクリーナケース RH を挟み込むようにフランジパイプ RH を取付けてください。
 (図 19) (締付けトルク: 3.0N・m {0.3kgf・m})



- (20) エアクリーナケース RH 内部に切り粉等が残らないようエアブロー等で清掃してください。

- (21) エアクリーナケース LH に穴開け加工してください。(図 20)
 バリやカエリのないよう切断面を処理してしてください。



- (22) エアクリーナケース LH 内側、穴開け加工周囲のリブを切除してください。(図 2 1)

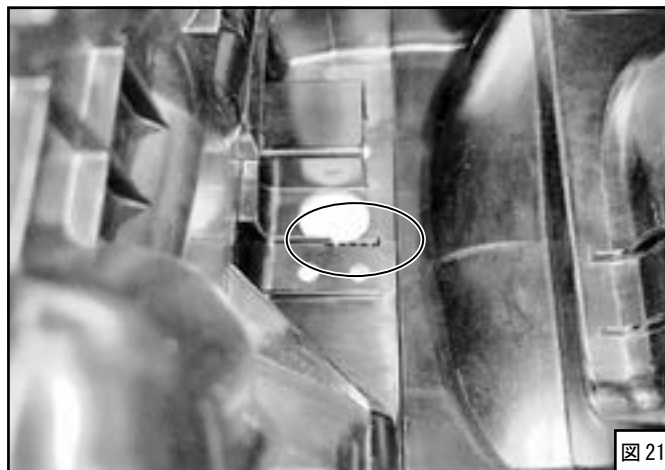


図 21

- (23) エアクリーナケース LH に穴開け加工した箇所の内側にフランジアダプタ LH を入れ、エアクリーナケース LH を挟み込むようにフランジパイプ LH を取付けてください。
(図 2 2) (締付けトルク : 3.0N・m {0.3kgf・m})

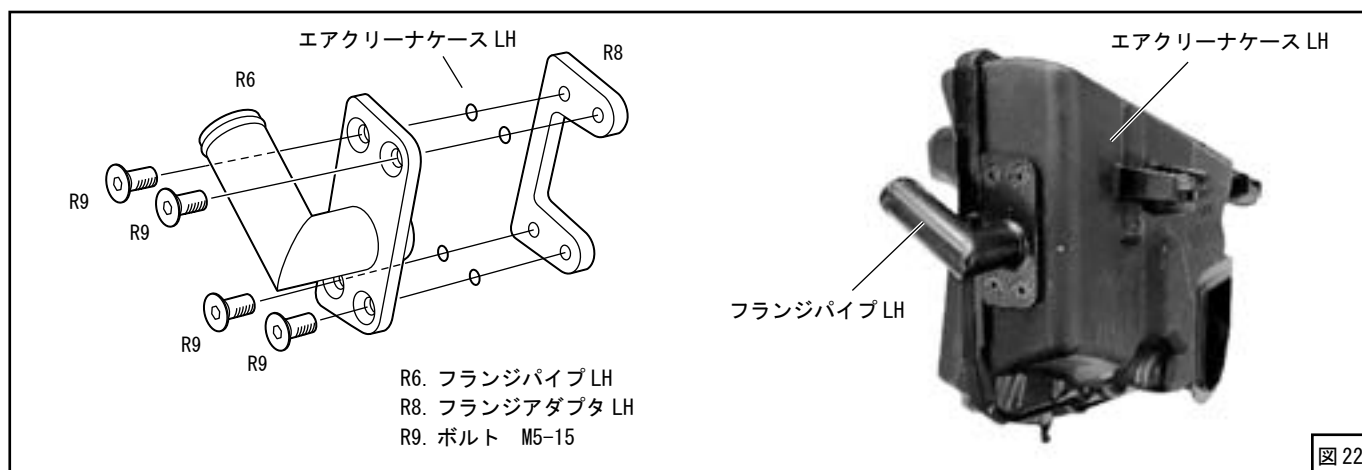


図 22

- (24) エアクリーナケース LH 内部に切り粉等が残らないようエアブロー等で清掃してください。

- (25) 左右のブローオフアセンブリのトリプルフィンをリターンニップルに交換してください。(図 2 3)

1. 右図の矢印で示す 4 本のボルトを外し、ファンネルを外してください。

⚠ 注意

他の 4 本は本体固定用ですので外さないでください。

2. ファンネルを外すとトリプルフィンを取外すことができます。
3. 逆の手順でリターンニップルを取付け、ファンネルをボルト（再使用）で再度固定してください。
(締付けトルク : 0.8N・m {0.08kgf・m})

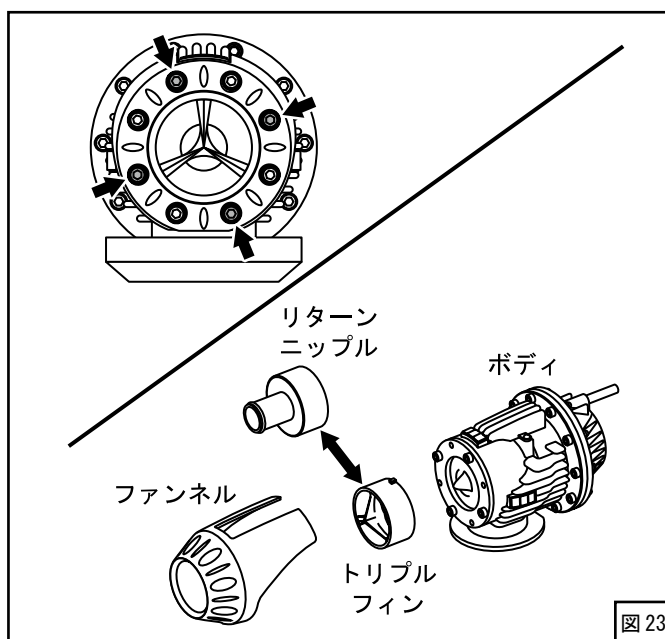
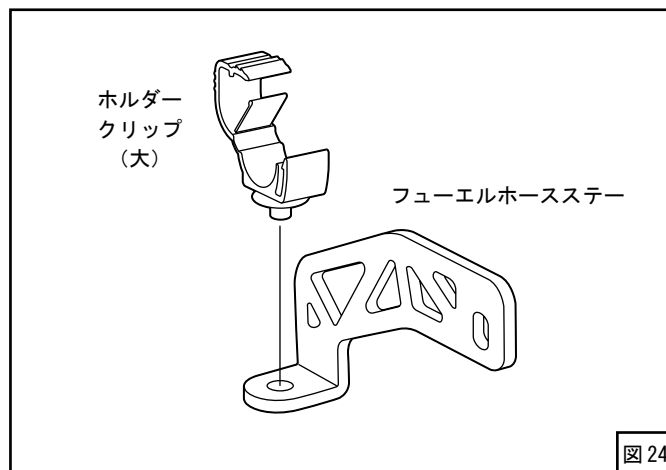


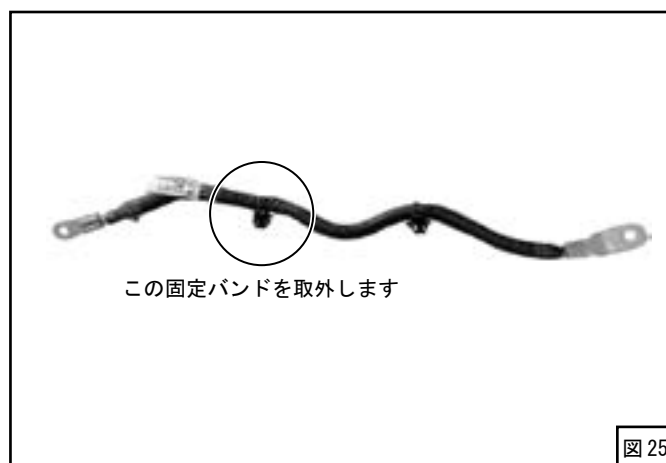
図 23

- (26) フューエルホースステアにホルダークリップ（大）を取付けてください。（図 2 4）



- (27) **右ハンドル車のみ**

8 ページ (13) で取外したアースケーブルから固定バンド 1 個を取外してください。（図 2 5）



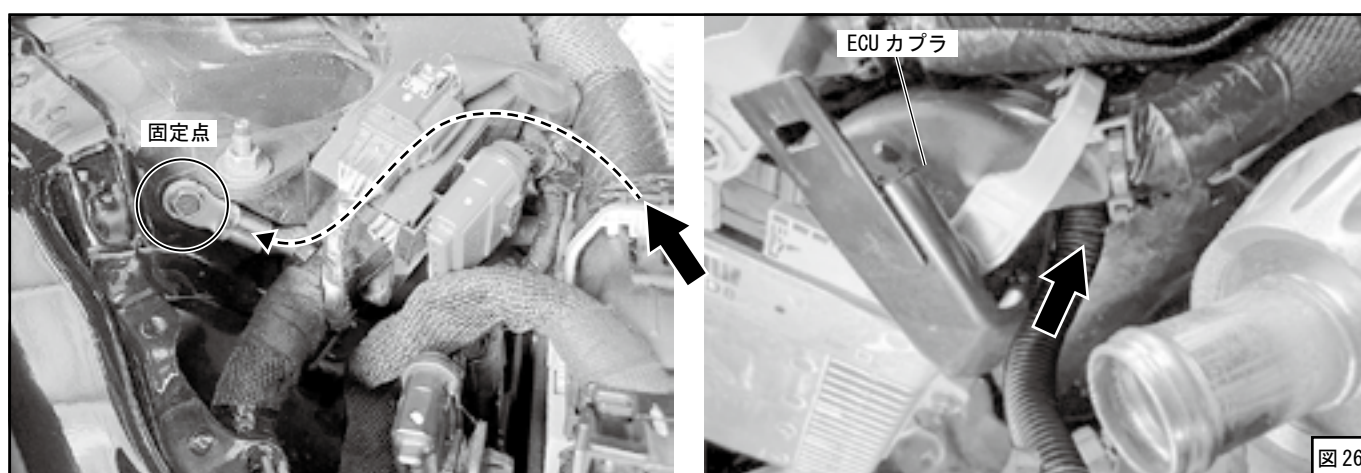
- (28) 純正ボルトを使用してアースケーブルを固定してください。（図 2 6）（締付けトルク：4.4N・m {0.44kgf・m}）
エンジン側はこの時点では固定しません。

左ハンドル車

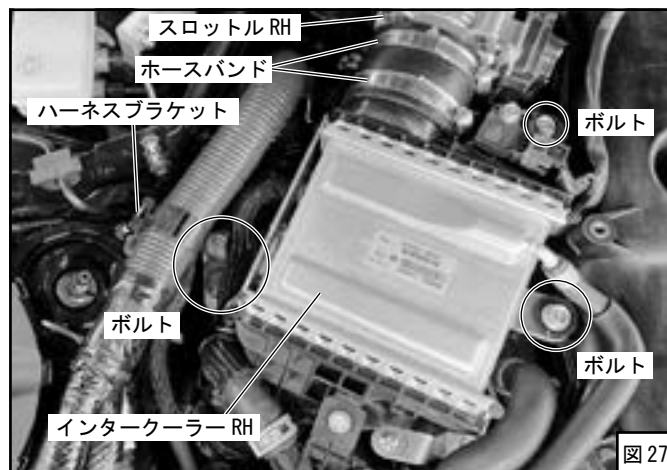
元のように取付けてください。

右ハンドル車

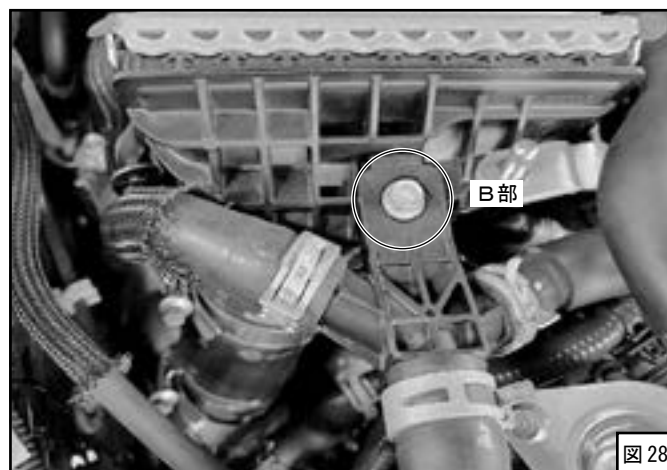
アースケーブルを ECU カブラの裏、各ワイヤーハーネスの下部を通し、図 2 6 のように配線してください。（図 2 6）



- (29) インタークーラー RH 固定用のボルト 4 本を外し、スロットル RH 間とのホースバンドをゆるめてください。
(図 2 7) (ボルトは再使用します)
- (30) ハーネスブラケットのボルトを外してください。
(図 2 7) (ボルトは再使用します)



- (31) B 部のボルトを外してください。(図 2 8)
(ボルトは再使用しません)



- (32) インタークーラー RH からホースクリップの嵌合を外してください。(図 2 9)



- (33) インタークーラー RH とターボチャージャー RH との間のホースバンドをゆるめてください。(図 3 0)



(34) インタークーラー RH を持ち上げ、スロットル RH との間のホースを取外してください。(図 3 1)
(ホース、ホースバンドは再使用します)
インタークーラー RH を車両から取外す必要はありません。

(35) インタークーラー RH とターボチャージャー RH との間のホースを取外してください。(図 3 0、図 3 1)
(ホース、ホースバンドは使用しません)

アドバイス

取付け、取外し作業を行う際には、パイプ・ホース類に異物が入らないようにしてください。

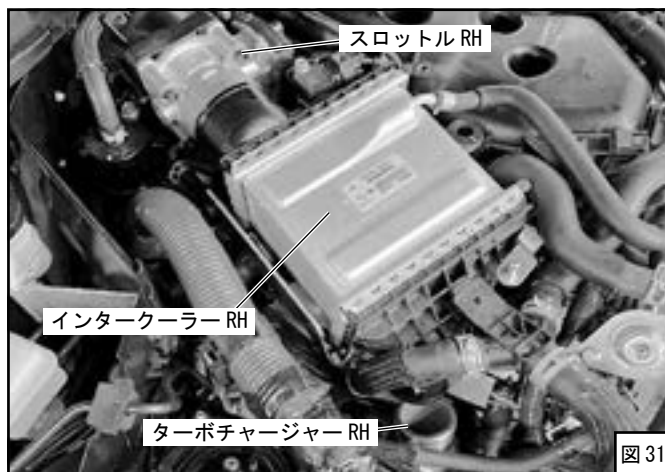


図 31

(36) インタークーラー RH とターボチャージャー RH との間にブローオフホースを仮付けしてください。
ホースバンド #36 は図 3 2 の向きになるようにしてください。(図 3 2)

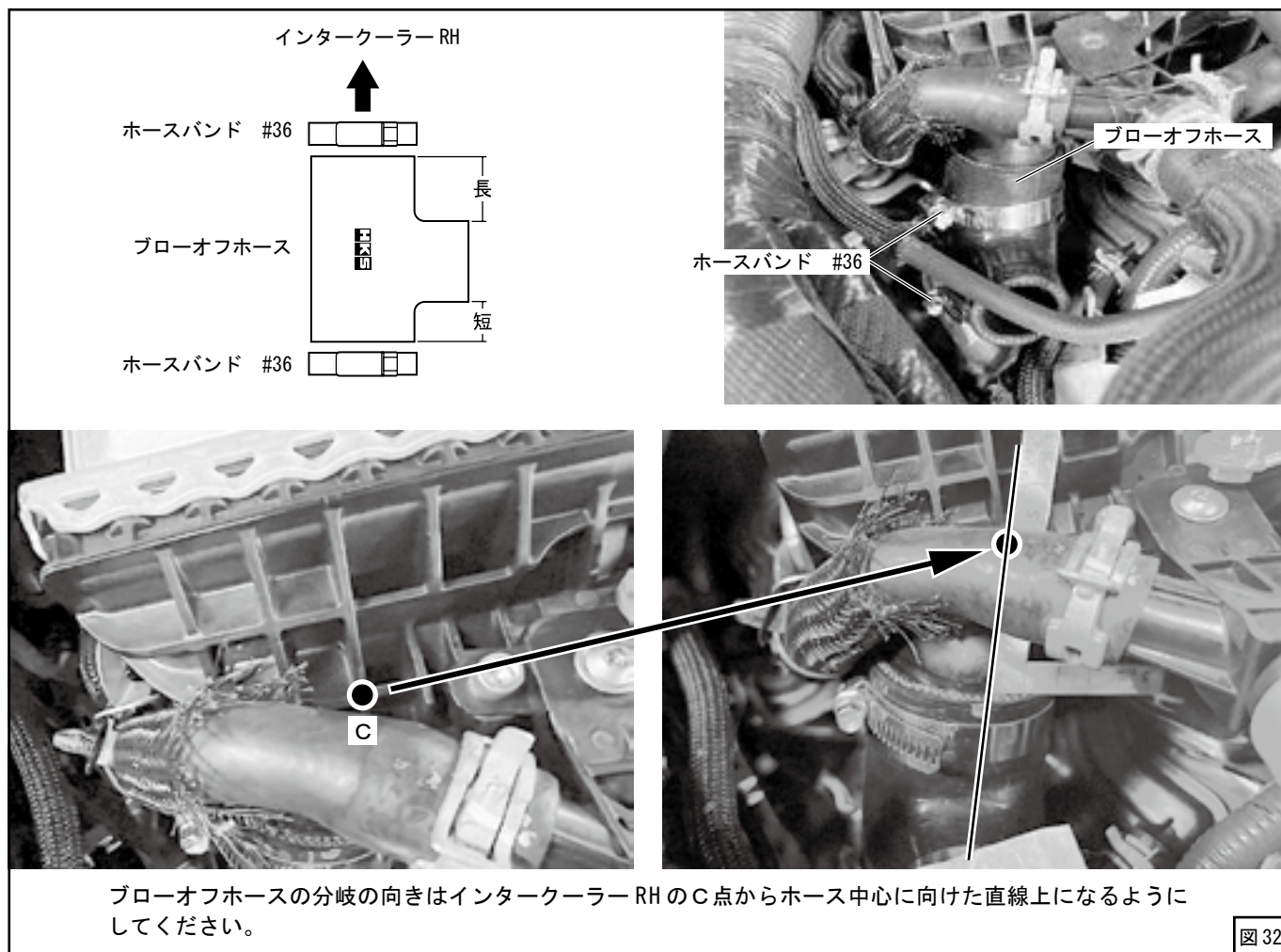


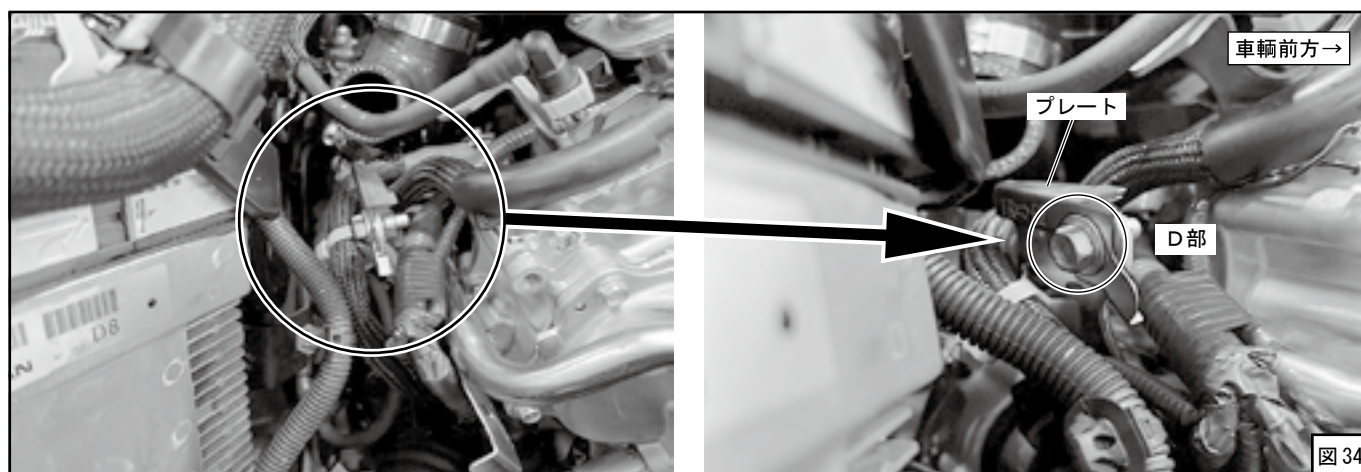
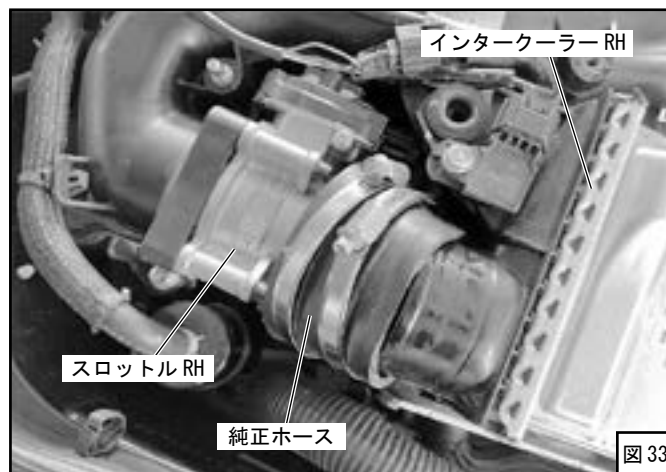
図 32

(37) インタークーラー RH とスロットル RH との間の純正ホースを元のように取付けてください。(図 3 3)
 その際、ホースに刻印されている△マークが上方、スロットル RH 側にくるようにしてください。

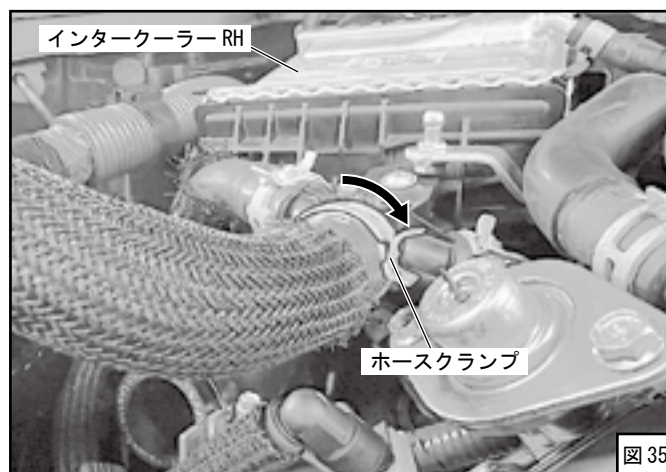
(38) ホースの取付け具合を確認しながら純正ボルト 4 本を使用してインタークーラー RH を元のように取付けてください。(締付けトルク : $24\text{N}\cdot\text{m}$ { $2.4\text{kgf}\cdot\text{m}$ })

(39) 各ホースバンドを固定してください。

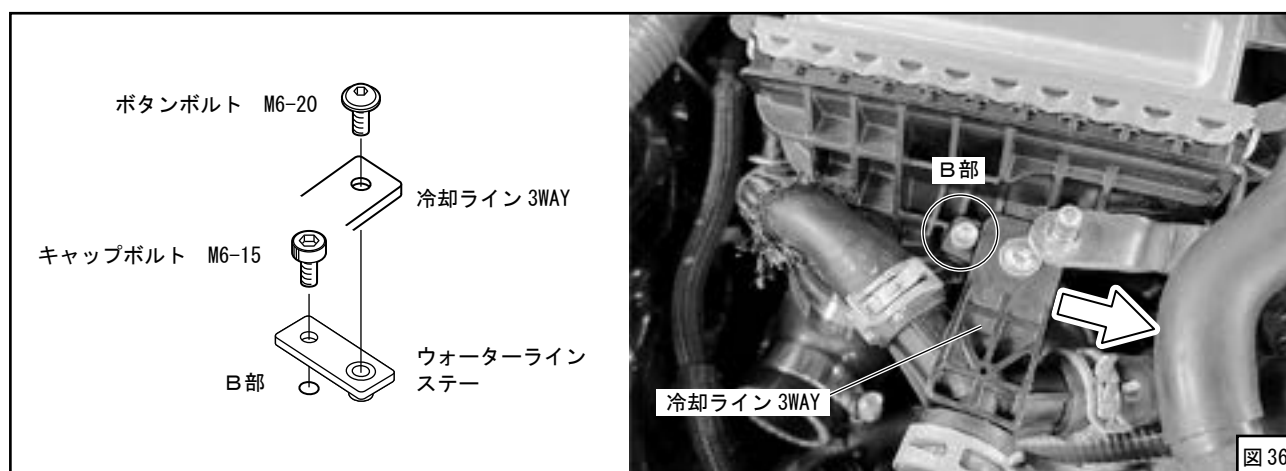
(40) ボルトを外し、D 部からプレートを取外してください。
 (図 3 4) (ボルト、プレートは再使用しません)



(41) 純正ホースクランプのツメの向きを図 3 5 のように変えてください。(図 3 5)



(42) 冷却ライン 3WAY を図 3 6 内矢印の向きにずらし、B 部にウォーターラインステアを介して取付けてください。
 (図 3 6) (締付けトルク : $9.0\text{N}\cdot\text{m}$ { $0.9\text{kgf}\cdot\text{m}$ })

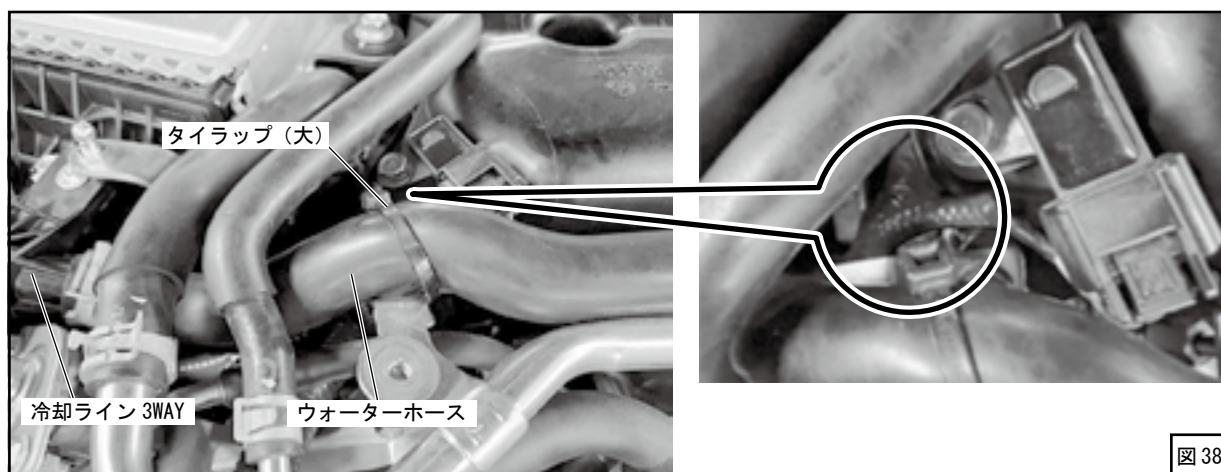
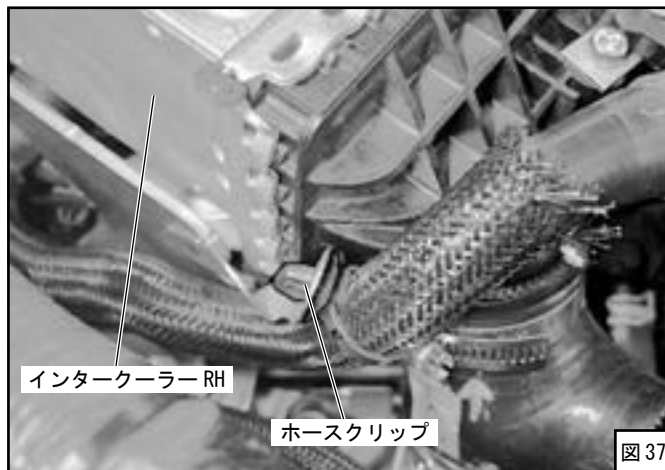


(43) インタークーラー RH にホースクリップを取付けてください。(図 37)

(44) 冷却ライン 3WAY をずらしたことによりウォーターホースが浮き上がりますので、タイラップ (大) で固定してください。(図 38)

アドバイス

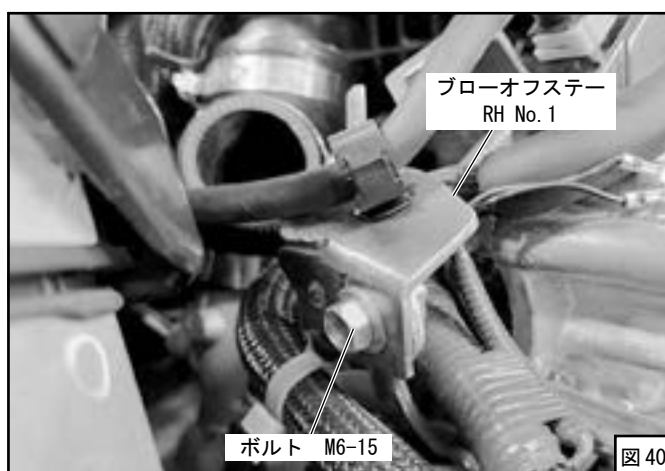
タイラップ固定時に下部にある配線を巻き込まないようにしてください。(図 38)



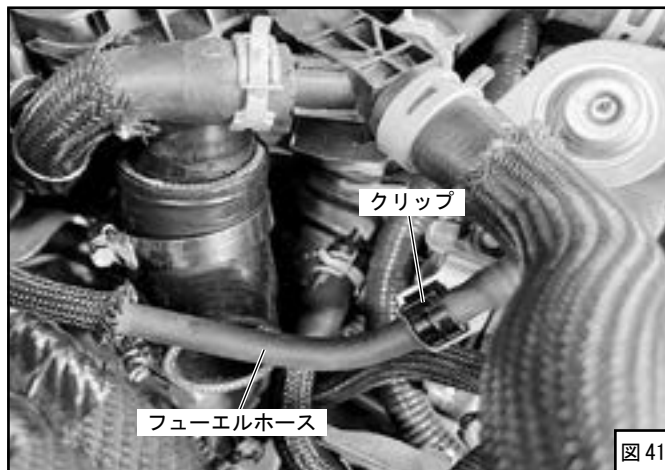
(45) ブローオフスター RH No.1 にホルダークリップ (大) を取付けてください。(図 39)



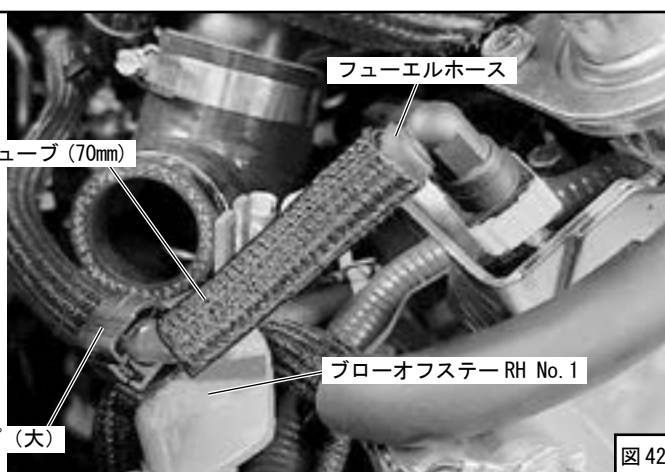
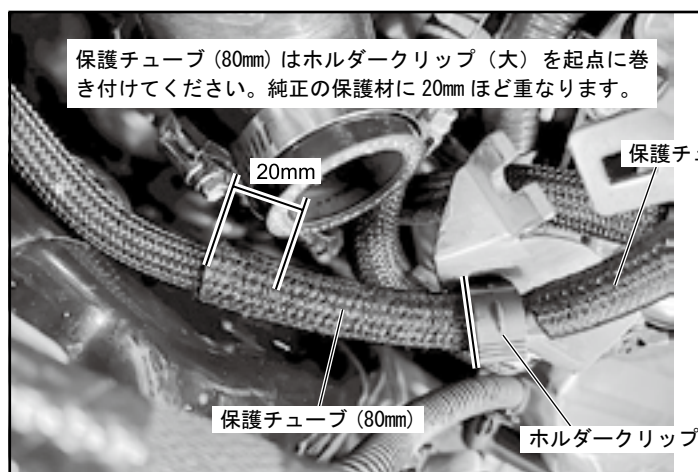
(46) キットパーツのボルト M6-15 を使用して D 部にブローオフスター RH No.1 を仮付けしてください。(図 40)



(47) フューエルホースをクリップから外し、クリップを車輛から取外してください。(図 4 1)

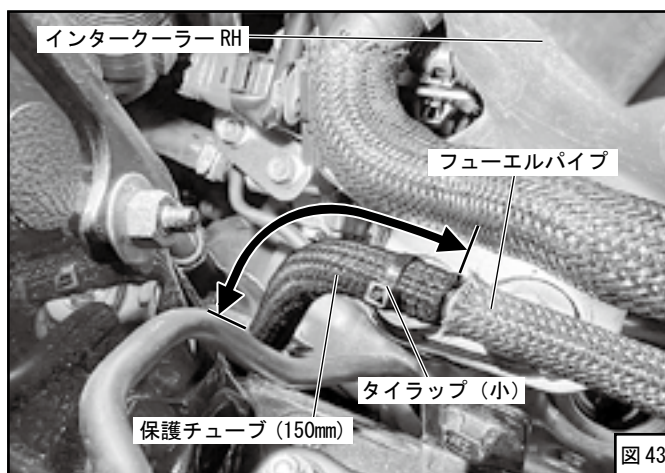


(48) フューエルホースをホルダークリップ（大）で固定し、保護チューブ（70mm）と保護チューブ（80mm）を巻き付けてください。(図 4 2)



(49) フューエルパイプに保護チューブ（150mm）を巻き付け、タイラップ（小）で固定してください。(図 4 3)

(50) タイラップ（小）の余分部分を切断後、タイラップ（小）の切断面が車輛下側を向くように回転させてください。

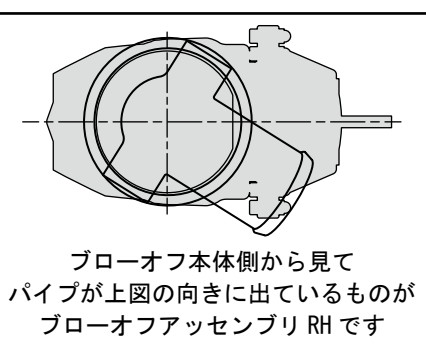
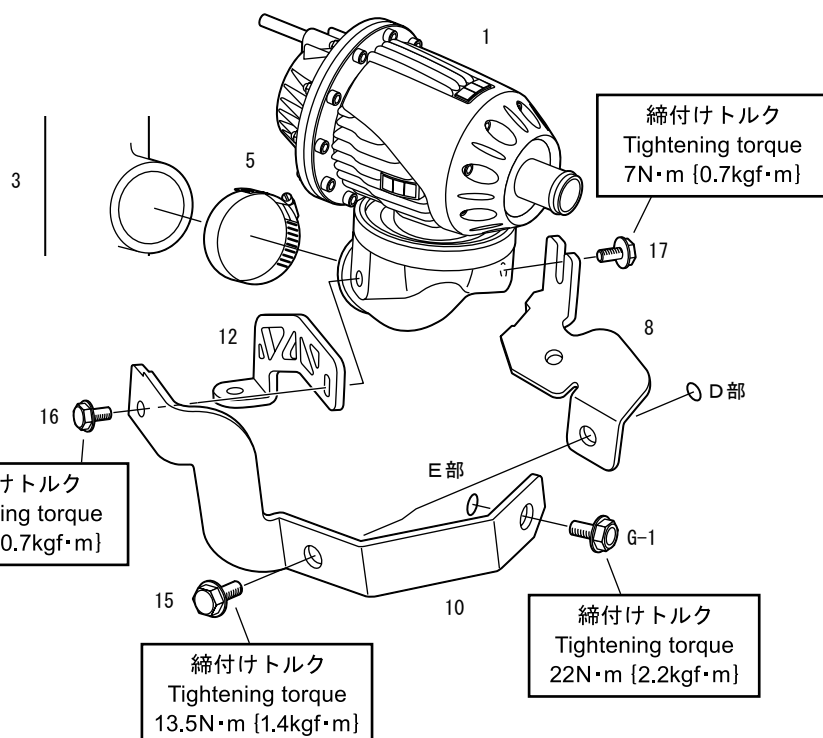


(51) (15) で切断加工したブラケットを仮付けしてください。E 部のボルトはこの段階で取付ける必要はありません。(図 4 4)



(52) ホースバンド #20 を使用してブローオフアッセンブリ RH をブローオフホースに仮付けしてください。(図 4 5)

1. ブローオフアッセンブリ RH
3. ブローオフホース
5. ホースバンド #20
8. ブローオフステー RH No. 1
10. ブローオフステー RH No. 2
12. フューエルホースステー
15. ボルト M8-20
16. ボルト M6-15
17. ボルト M6-12
- G-1. ボルト (純正・E部)



D部とE部の穴位置が合わない場合は、D部が存在するブラケットのエンジン側ボルト2本をゆるめて位置を調整してください。調整後はボルトを締めてください。(締付けトルク : 28.0N·m {2.9kgf·m})

⚠ 注意

ボルトは硬く締まっていますので、ゆるめる際はボルト頭を損傷させないようにしてください。

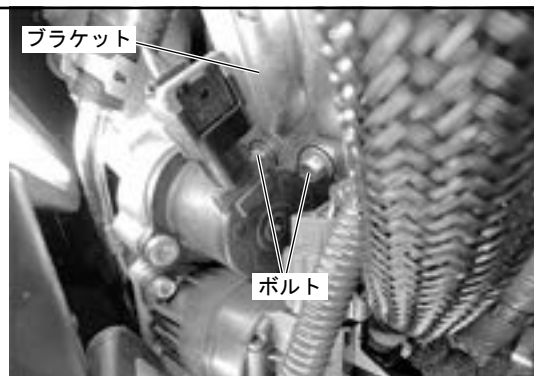
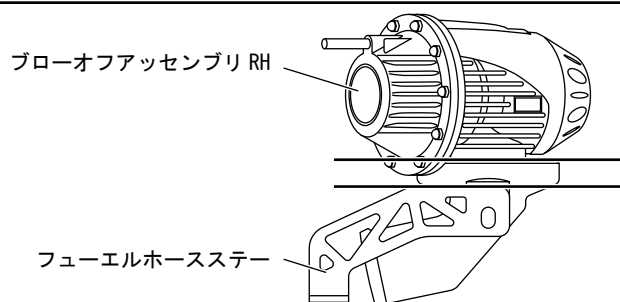


図 45

(53) ブローオフステー RH No. 2 とフューエルホースステーを仮付けしてください。(図 4 5、図 4 6)



ブローオフアッセンブリ RH のフランジ面と
フューエルホースステーの上端が
平行になるように取付けてください

図 46

- (54) 各ステーやブローオフアッセンブリ RH がボディなどと干渉しないように位置を決め、ホースバンド・ボルト類を本締めし、固定してください。(図 4 5)
ブローオフ本体とウォーターホースの間隔を 3mm 以上確保するようにしてください。(図 4 7)

アドバイス

(42) で取付けたウォーターラインステーの取付け角度でも間隔を調整できます。

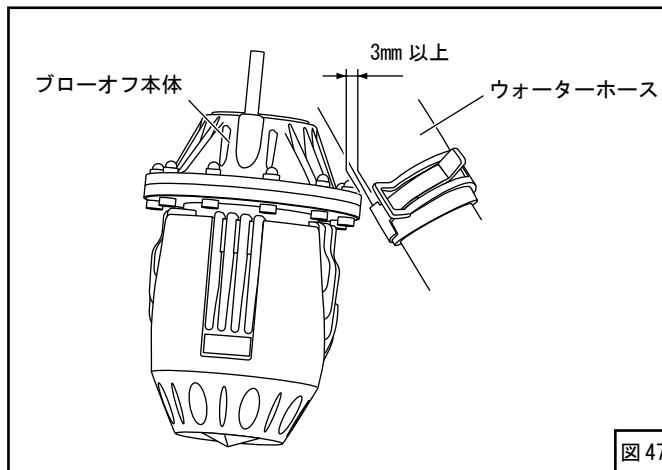


図 47

- (55) フューエルホースをフューエルホースステーに取付けたホルダークリップ (大) で固定してください。(図 4 8)

各部推奨間隔

- | | |
|--------------------------|------|
| ①: フューエルホース - 車体 | 10mm |
| ②: ホルダークリップ (大) - 車体 | 15mm |
| ③: ホルダークリップ (大) - ブレーキ配管 | 15mm |

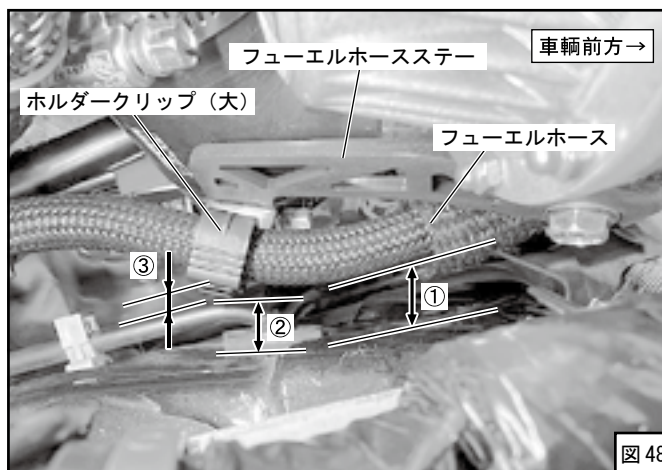


図 48

- (56) C C クランプをインタークーラー RH 下のホースに取付け、もう一方でフューエルパイプを固定してください。向き、位置は図 4 9 を参照してください。(図 4 9)

アドバイス

回り止めのため C C クランプのツメ部を図 4 9 丸印部に当てるようにしてください。

- (57) C C クランプずれ防止のため、タイラップ (大) をホースに取付けてください。(図 4 9)

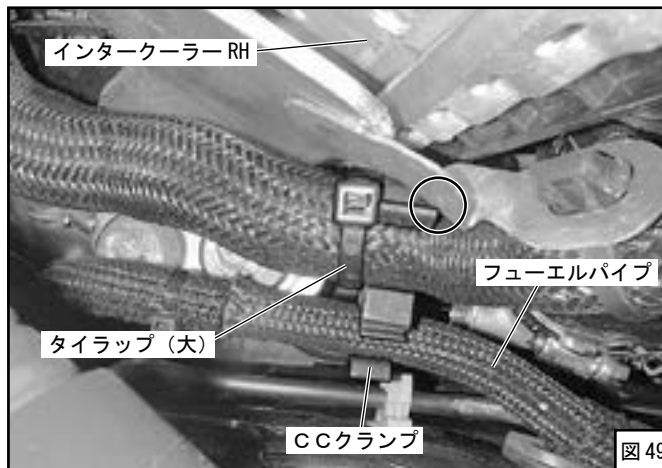


図 49

⚠ 注意

図 5 0 矢印部の間隔を 15mm 以上確保できるようにフューエルパイプの配管を調整してください。それ以外の部分でもフューエルパイプが他と接触しないようにしてください。フューエルパイプ破損による火災のおそれがあります。

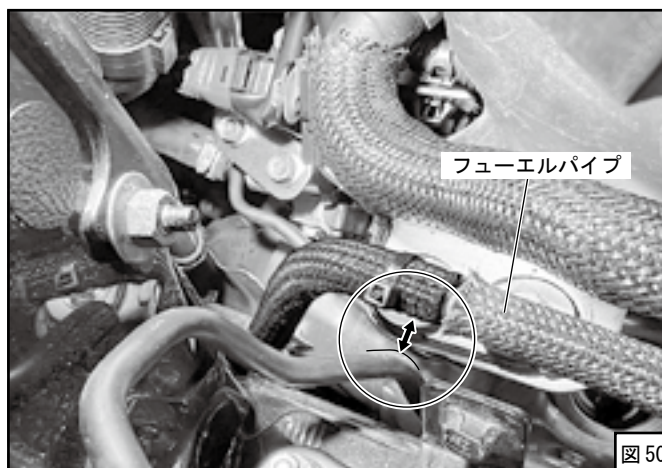
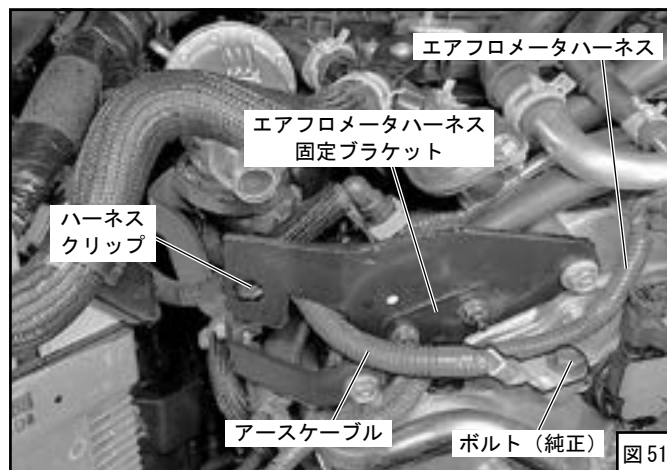
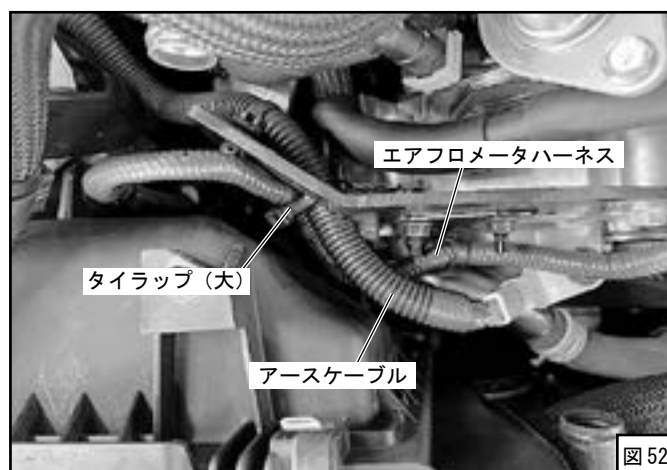


図 50

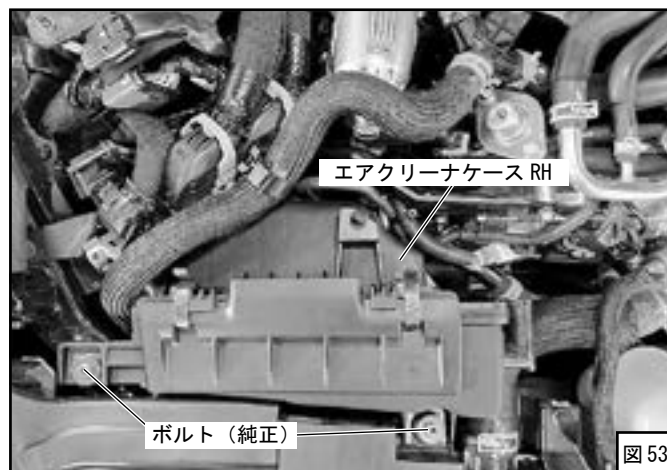
- (58) 純正ボルトを使用してアースケーブルを取付け、ハーネスクリップで固定してください。(図 5 1)
(締付けトルク : 13.5N・m {1.4kgf・m})
- (59) エアフロメータハーネス固定ブラケットにエアフロメータハーネスのクリップを取付けてください。(図 5 1)



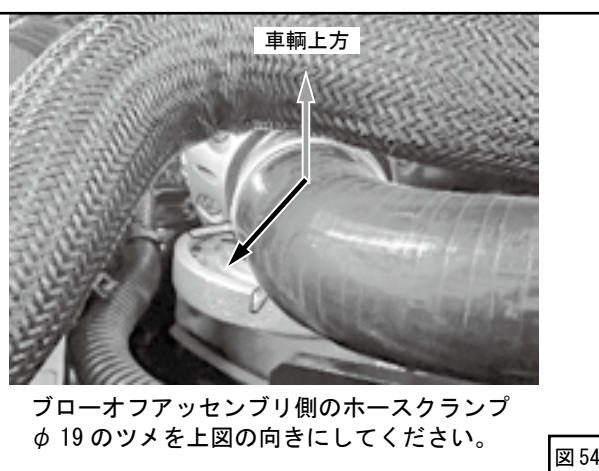
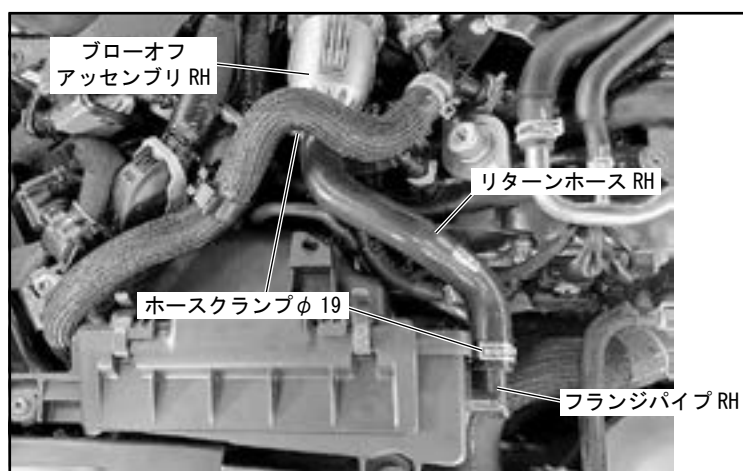
- (60) エアフロメータハーネスをアースケーブルの下に通してください。(図 5 2)
- (61) エアフロメータセンサにコネクタを接続し、エアクリーナケース RH をサクションホースに取付けてください。サクションホースのロックリングが確実に固定されていることを確認してください。
- (62) タイラップ (大) を使用してエアフロメータハーネスをアースケーブルに固定してください。(図 5 2)



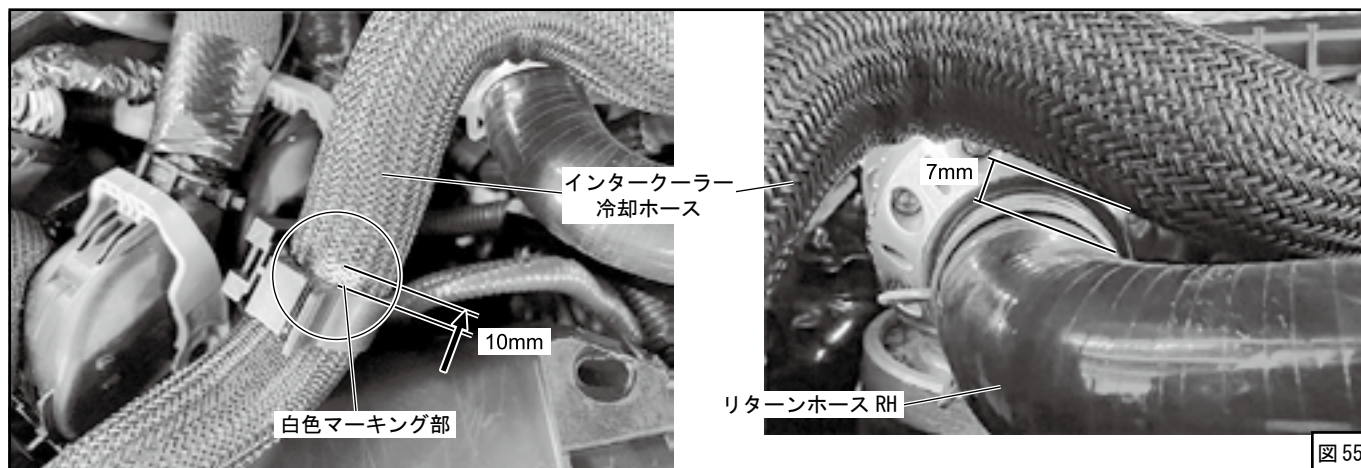
- (63) 純正ボルトを使用してエアクリーナケース RH を固定してください。(締付けトルク : 5.5N・m {0.55kgf・m})
(図 5 3)



- (64) ホースクランプ φ 19 を使用してリターンホース RH を取付けてください。(図 5 4)



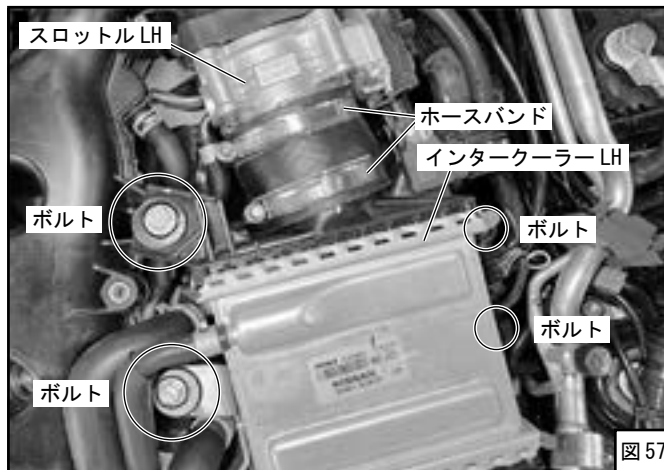
- (65) インタークーラー冷却ホースの固定点から白色マーキング部を 10mm 程度引き出し、リターンホース RH との間隔を 7mm 程度確保してください。(図 5 5)



- (66) 引き出したホースがずれないようにタイラップ (大) でずれ止めをしてください。(図 5 6)

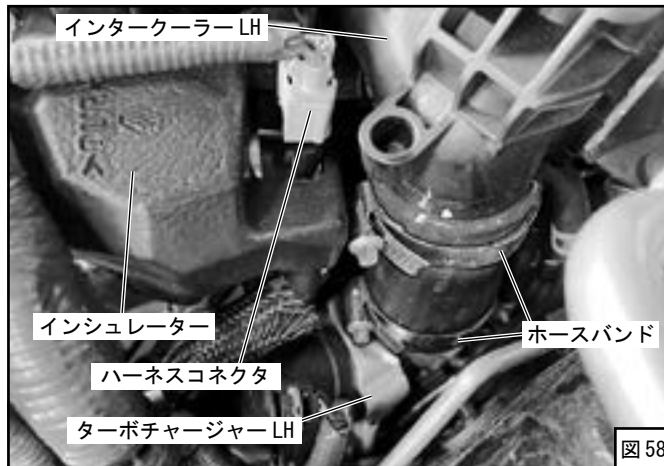


- (67) インタークーラー LH 固定用のボルト 4 本を外し、スロットル LH 間とのホースバンドをゆるめてください。(図 5 7) (ボルトは再使用します)

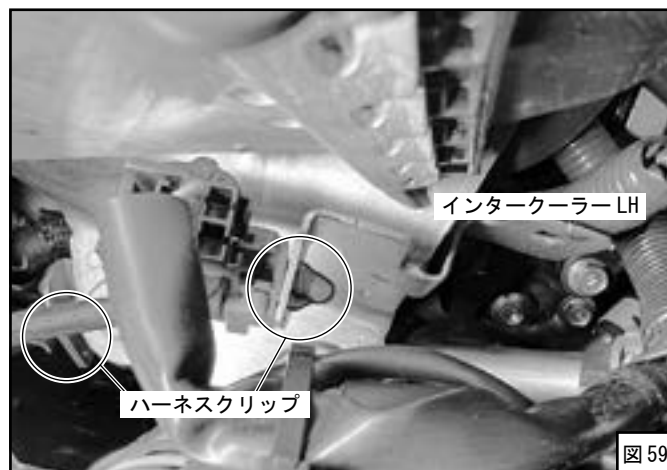


- (68) インタークーラー LH とターボチャージャー LH との間
のホースバンドをゆるめてください。(図 5 8)

- (69) 図 5 8 内のハーネスコネクタを取外し、インシュレーター
を取外してください。(図 5 8)
(インシュレーターは再使用します)



- (70) インタークーラー LH 下の固定点からハーネスクリップを外してください。(図 59)



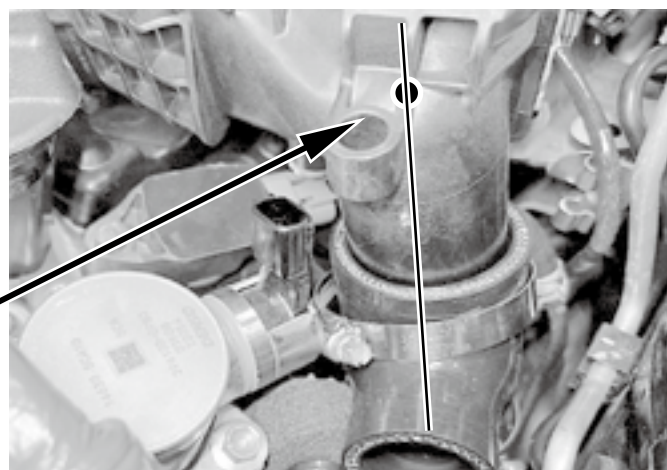
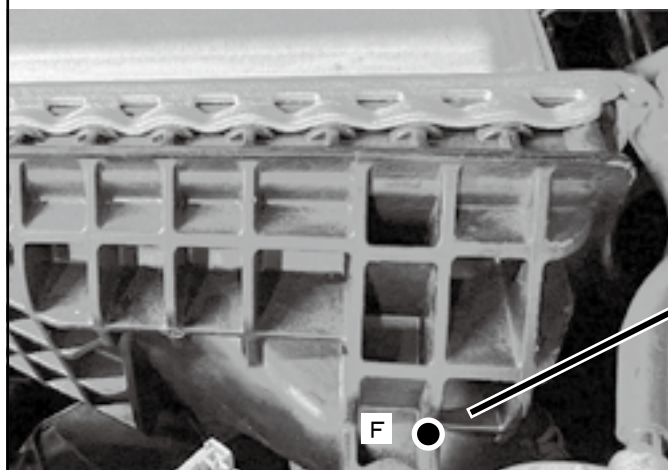
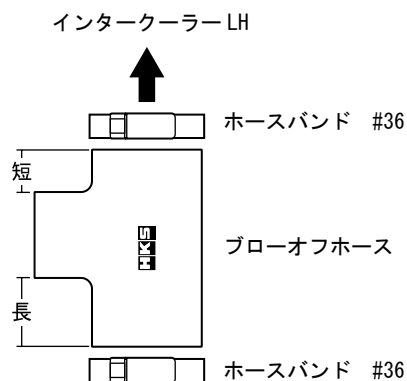
- (71) インタークーラー LH を持ち上げ、スロットル LH との間のホースを取外してください。(図 60)
(ホース、ホースバンドは再使用します)
インタークーラー LH を車輛から取外す必要はありません。

- (72) インタークーラー LH とターボチャージャー LH との間のホースを取外してください。(図 58、図 60)
(ホース、ホースバンドは使用しません)

アドバイス

取付け、取外し作業を行う際には、パイプ・ホース類に異物が入らないようにしてください。

- (73) インタークーラー LH とターボチャージャー LH との間にブローオフホースを仮付けしてください。(図 61)



ブローオフホースの分岐の向きはインタークーラー LH の F 点からホース中心に向けた直線上的になるようにしてください。

図 61

- (74) 純正保護メッシュの終端部、貼付け箇所を脱脂してスポンジテープを 80mm にカットして貼付けてください。
(図 6 2)

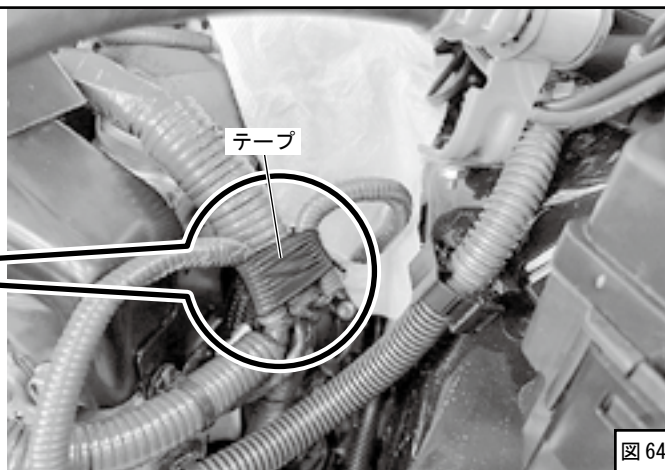
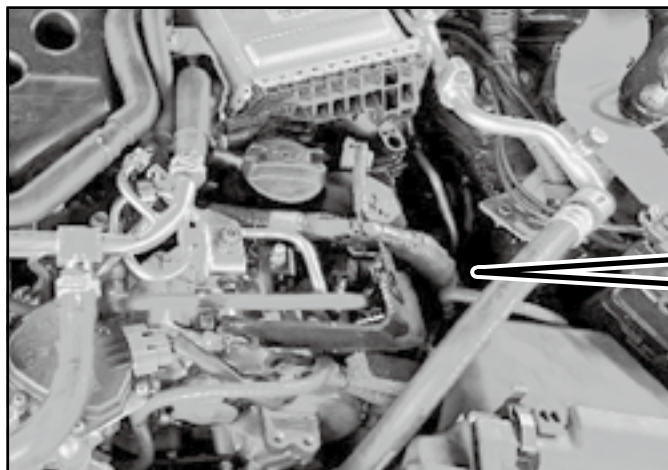
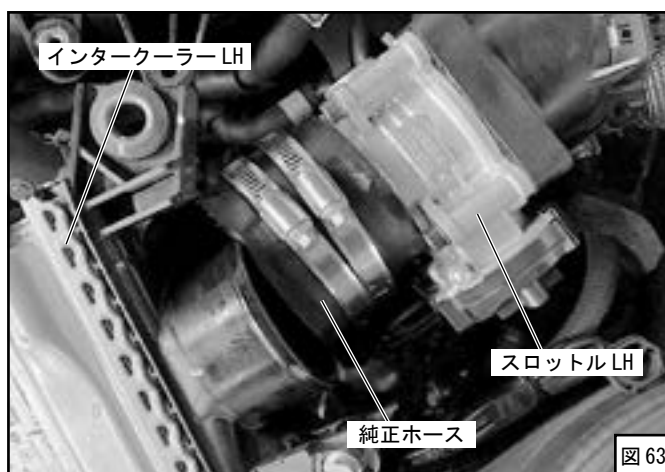


- (75) インタークーラー LH とスロットル LH との間の純正ホースを元のように取付けてください。(図 6 3)
その際、ホースに刻印されている△マークが上方、スロットル LH 側にくるようにしてください。

- (76) ホースの取付け具合を確認しながら純正ボルト 4 本を使用してインタークーラー LH を元のように取付けてしてください。(締付けトルク : 24N・m {2.4kgf・m})

- (77) 各ホースバンドを固定してください。

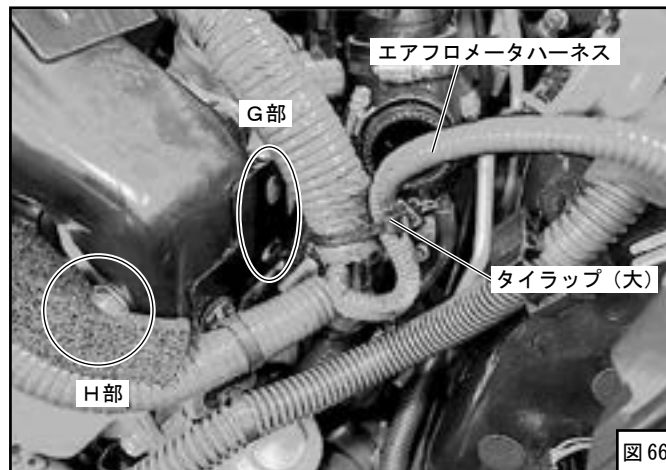
- (78) ハーネスを束ねているテープを外してください。
(図 6 4)



- (79) リサキュレーションハーネスを図 6 5 のように取回し、ウエストゲートアクチュエーターハーネスの内側を通してタイラップ (大) で固定してください。(図 6 5)

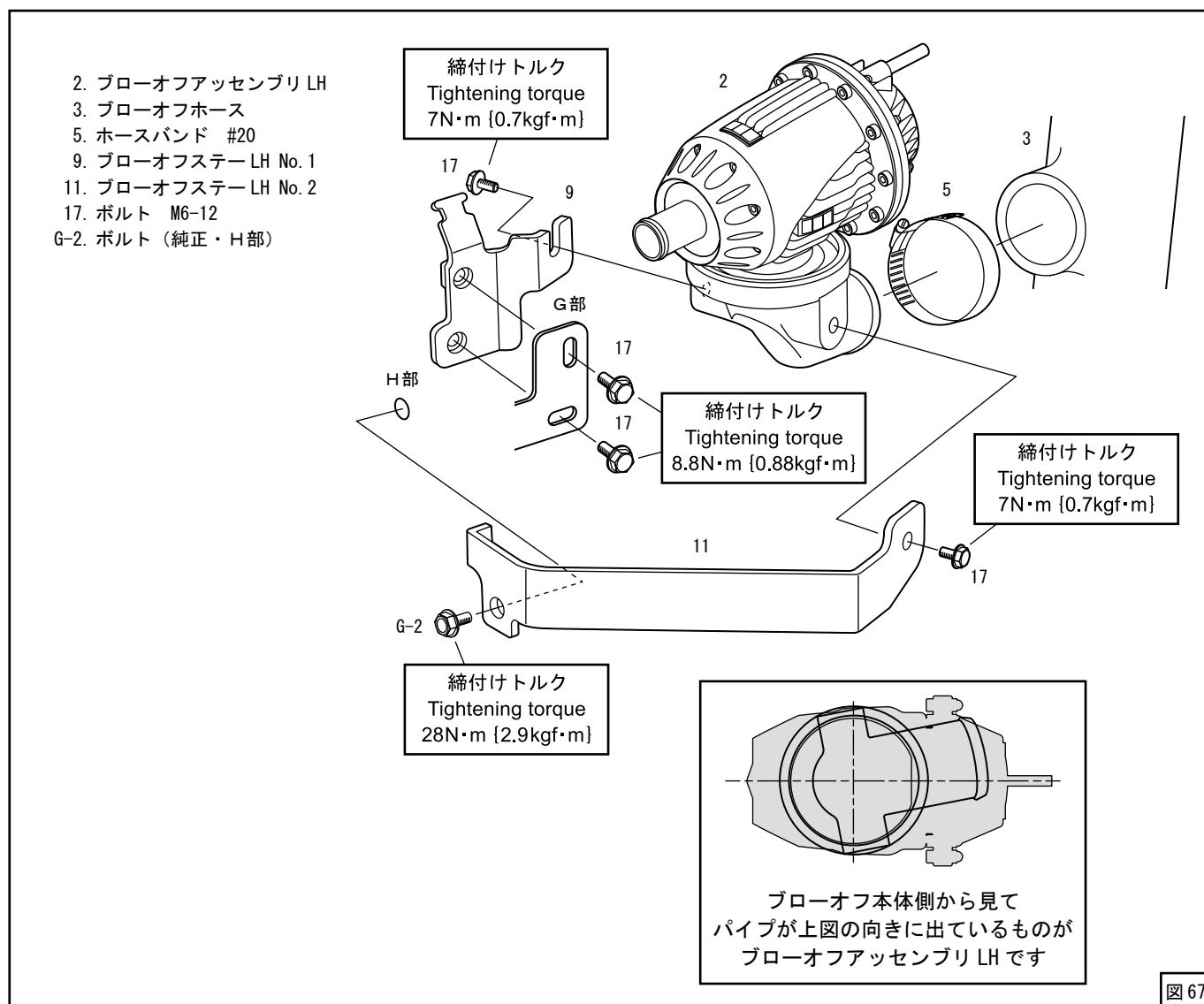


(80) エアフロメータハーネスを図 6 6 のように取回し、タイラップ (大) で固定してください。(図 6 6)



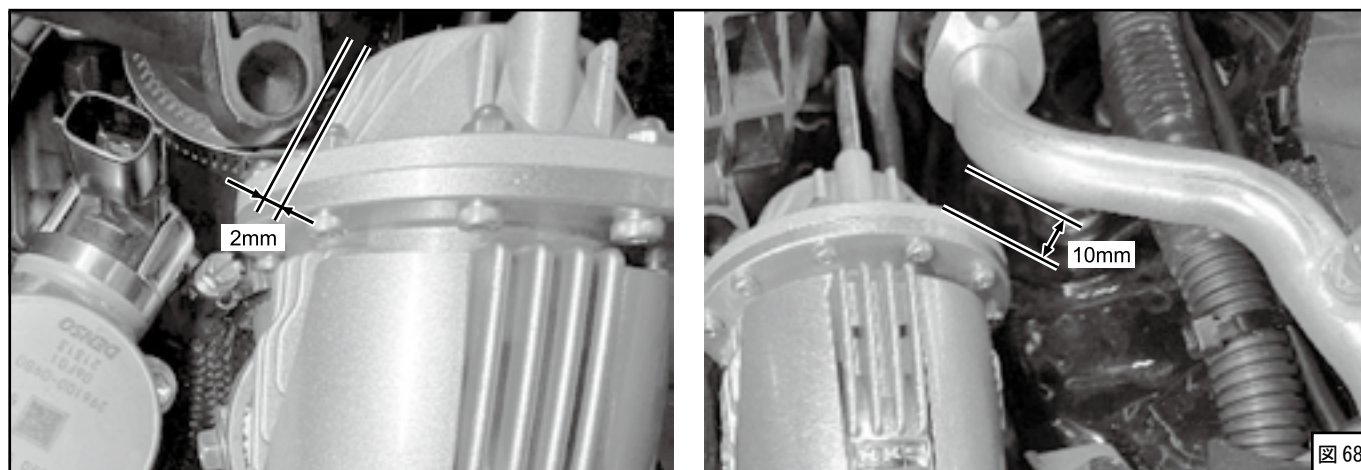
(81) ホースバンド #20 を使用してブローオフアッセンブリ LH をブローオフホースに仮付けしてください。(図 6 7)

(82) G 部にブローオフスTEE LH No. 1 を、H 部にブローオフスTEE LH No. 2 を仮付けしてください。(図 6 6、図 6 7)



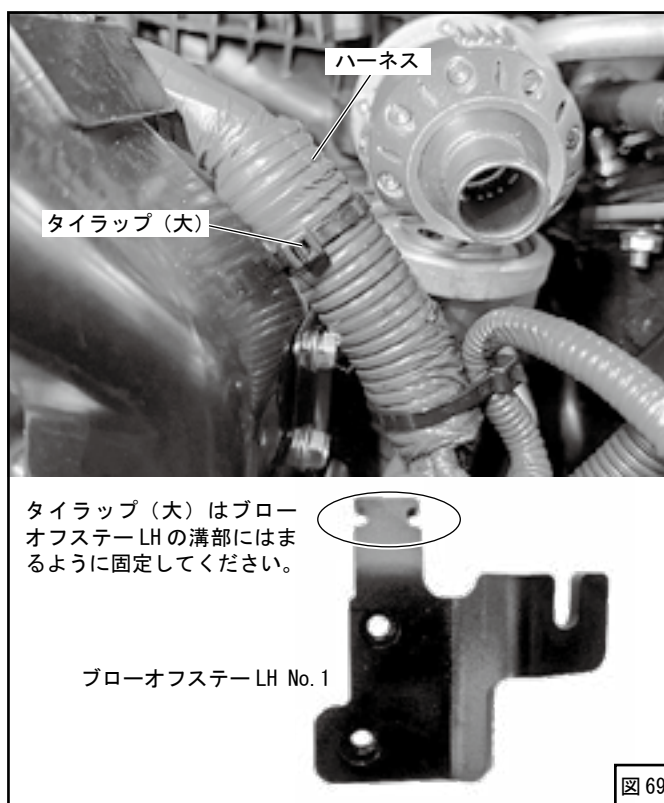
(83) 各ステーやブローオフアッセンブリ LH がボディなどと干渉しないように位置を決め、ホースバンド・ボルト類を本締めし、固定してください。(図 6 7)

ブローオフ本体と各所の間隔を図 6 8 のように確保するようにしてください。(図 6 8)



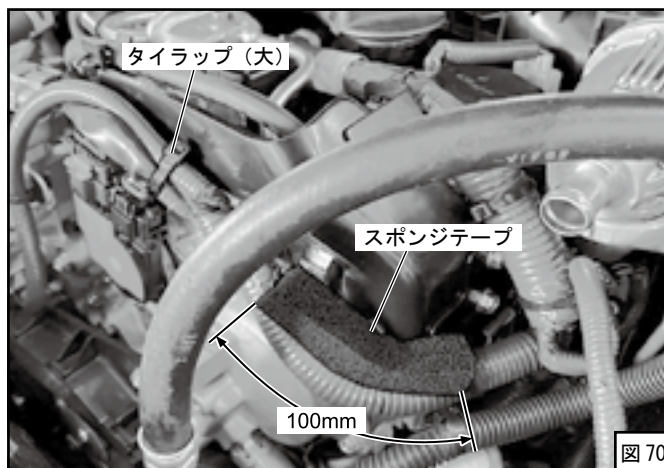
(84) タイラップ (大) を使用して純正ハーネスをブローオフステー LH No. 1 に固定してください。(図 6 9)

(85) 外したインシュレーターやハーネスコネクタ、ハーネスクリップ類を元のように取付けてください。

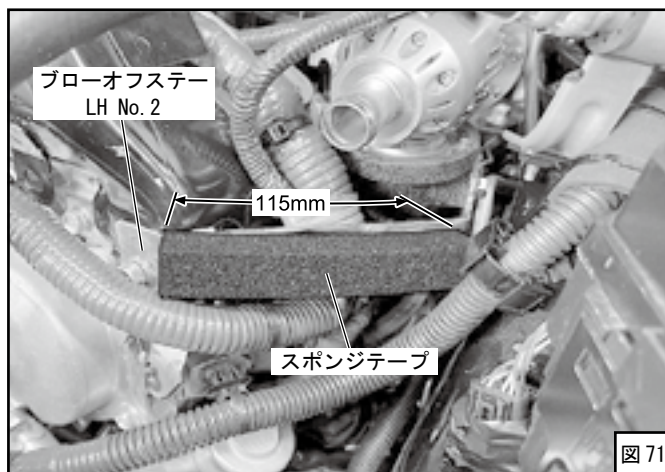


(86) 貼付け箇所を脱脂して純正ハーネスにスポンジテープを貼付けてください。(図 7 0)

(87) タイラップ (大) を使用して純正ハーネスを固定してください。(図 7 0)

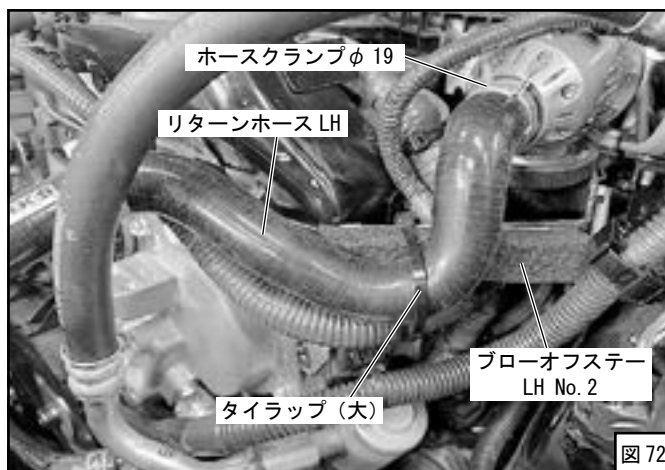


- (88) 貼付け箇所を脱脂してブローオフステー LH No. 2 にスポンジテープを貼付けてください。(図 7 1)



- (89) ホースクランプφ 19 を使用してリターンホース LH を仮付けしてください。(図 7 2)

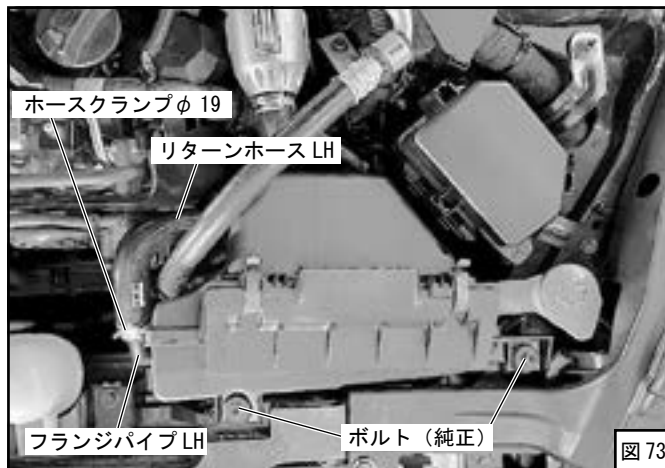
- (90) タイラップ (大) を使用してブローオフステー LH No. 2 にリターンホース LH を固定してください。(図 7 2)



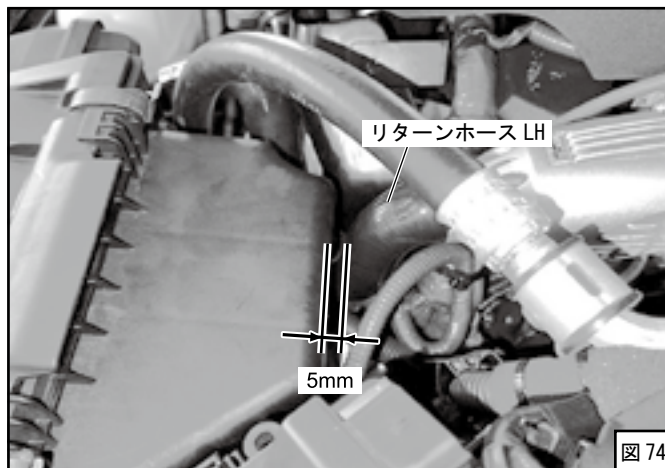
- (91) エアフロメータセンサにコネクタを接続し、エアクリーナケース LH をサクションホースに取付けてください。サクションホースのロックリングが確実に固定されていることを確認してください。

- (92) 純正ボルトを使用してエアクリーナケース LH を固定してください。(締付けトルク : 5.5N・m {0.55kgf・m}) (図 7 3)

- (93) ホースクランプφ 19 を使用してフランジパイプ LH にリターンホース LH を取付けてください。(図 7 3)



- (94) エアクリーナケース LH とリターンホース LH の間隔が 5mm 以上になるように取付けを調整してください。(図 7 4)



- (95) タイラップ（大）を使用してブローオフステー LH No. 2 にエアフロメータハーネスを固定してください。
 （図 7 5） エアフロメータハーネスに無理な力がかからないよう余裕を持たせて固定してください。

ここまでの作業が完了しましたら 41 ページの
 [3. ブローオフ配管取付け] に移動してください。

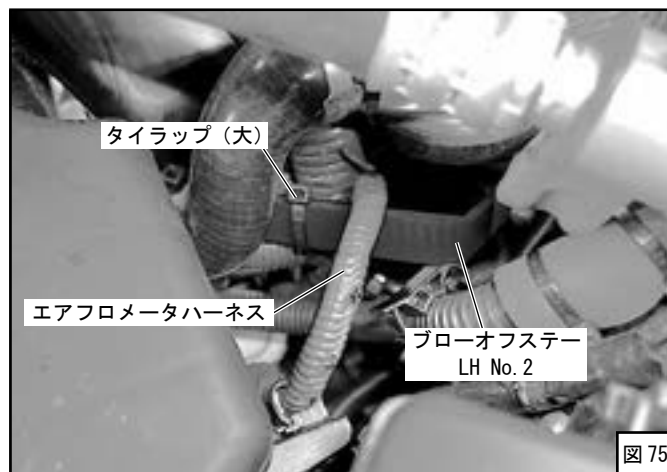


図 75

ブローオフアッセンブリから吐出される空気を大気開放させる場合
 （スーパー S Q V IV キット : 71008-KN030 の取付け）

- (14) フューエルホースステーにホルダークリップ（大）を取付けてください。（図 7 6）

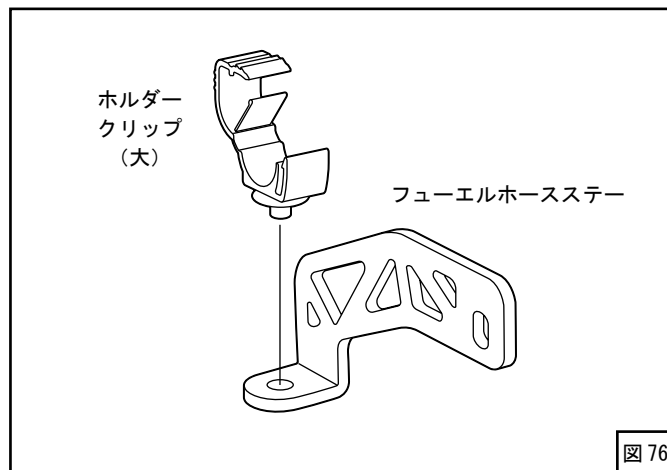


図 76

- (15) **右ハンドル車のみ**

8 ページ (13) で取外したアースケーブルから固定バンド 1 個を取外してください。（図 7 7）

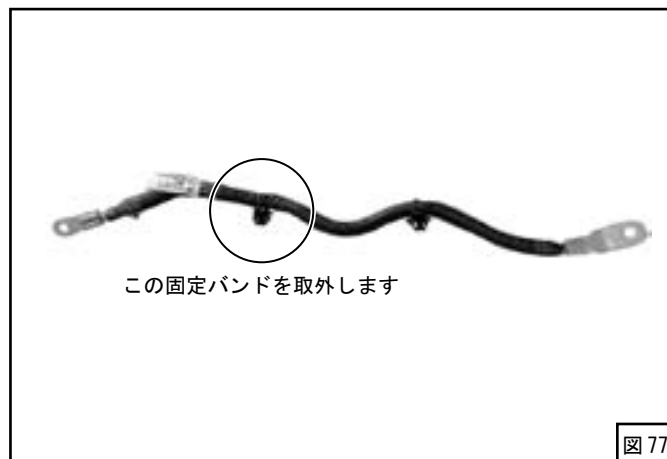


図 77

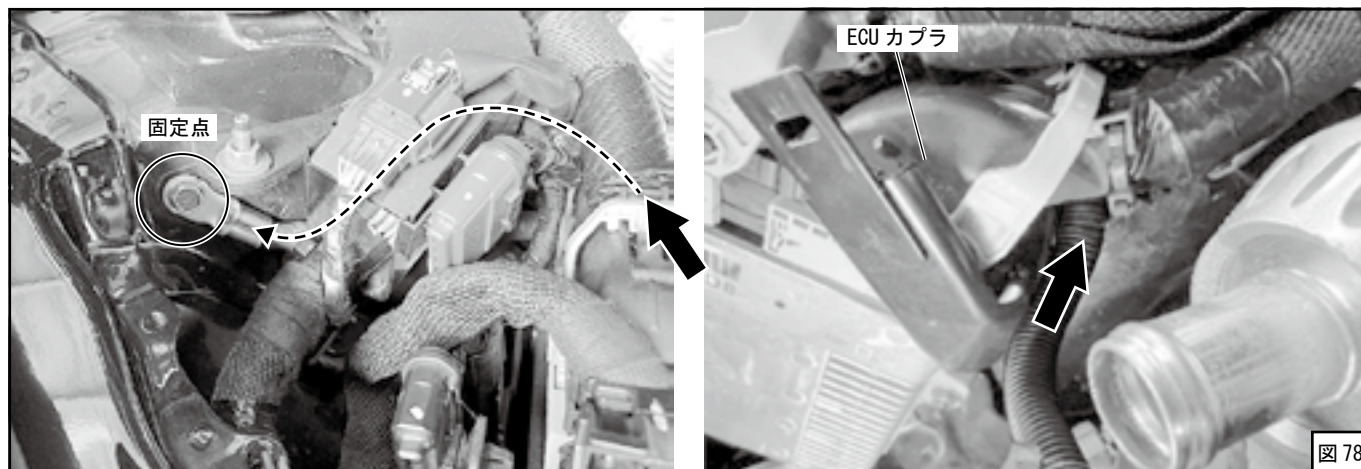
- (16) 純正ボルトを使用してアースケーブルを固定してください。(図 7 8) (締付けトルク : 4. 4N・m {0. 44kgf・m})
エンジン側はこの時点では固定しません。

左ハンドル車

元のように取付けてください。

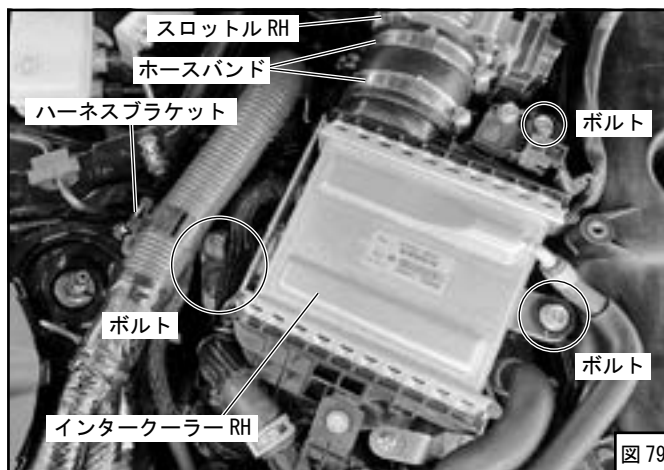
右ハンドル車

アースケーブルを ECU カブラの裏、各ワイヤーハーネスの下部を通し、図 7 8 のように配線してください。(図 7 8)



- (17) インタークーラー RH 固定用のボルト 4 本を外し、スロットル RH 間とのホースバンドをゆるめてください。
(図 7 9) (ボルトは再使用します)

- (18) ハーネスブラケットのボルトを外してください。
(図 7 9) (ボルトは再使用します)



- (19) B 部のボルトを外してください。(図 8 0)
(ボルトは再使用しません)



- (20) インタークーラー RH からホースクリップの嵌合を外してください。(図 8 1)



- (21) インタークーラー RH とターボチャージャー RH との間のホースバンドをゆるめてください。(図 8 2)

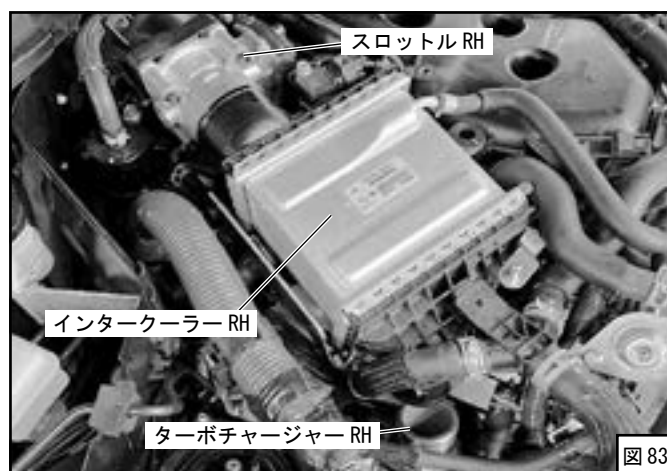


- (22) インタークーラー RH を持ち上げ、スロットル RH との間のホースを取外してください。(図 8 3)
(ホース、ホースバンドは再使用します)
インタークーラー RH を車両から取外す必要はありません。

- (23) インタークーラー RH とターボチャージャー RH との間のホースを取外してください。(図 8 2、図 8 3)
(ホース、ホースバンドは使用しません)

アドバイス

取付け、取外し作業を行う際には、パイプ・ホース類に異物が入らないようにしてください。



- (24) インタークーラー RH とターボチャージャー RH との間にブローオフホースを仮付けしてください。
ホースバンド #36 は図 8 4 の向きになるようにしてください。(図 8 4)

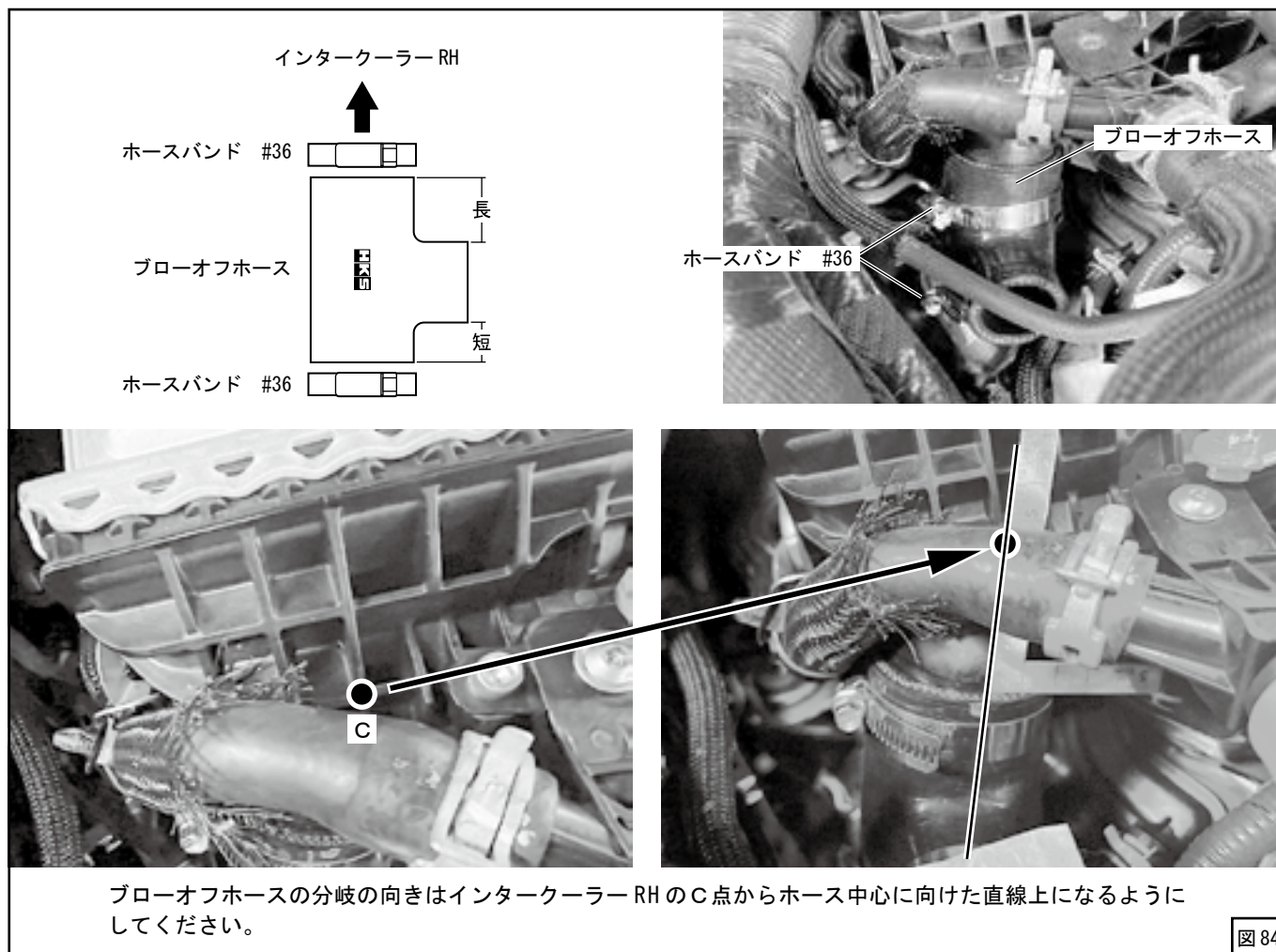


図 84

- (25) インタークーラー RH とスロットル RH との間の純正ホースを元のように取付けてください。(図 8 5)
その際、ホースに刻印されている△マークが上方、スロットル RH 側にくるようにしてください。
- (26) ホースの取付け具合を確認しながら純正ボルト 4 本を使用してインタークーラー RH を元のように取付けてしてください。(締付けトルク : 24N・m {2.4kgf・m})
- (27) 各ホースバンドを固定してください。

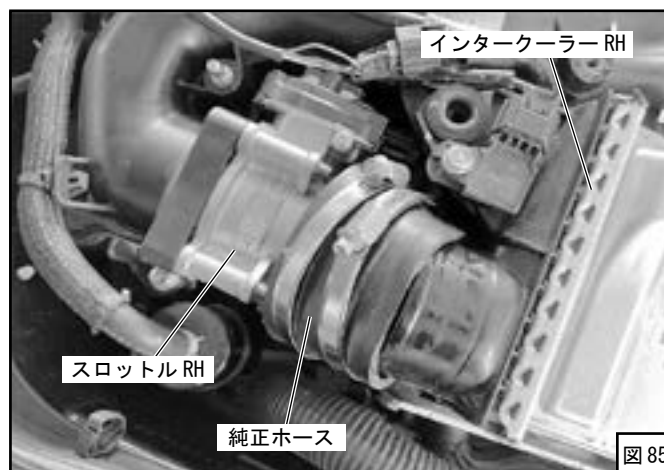
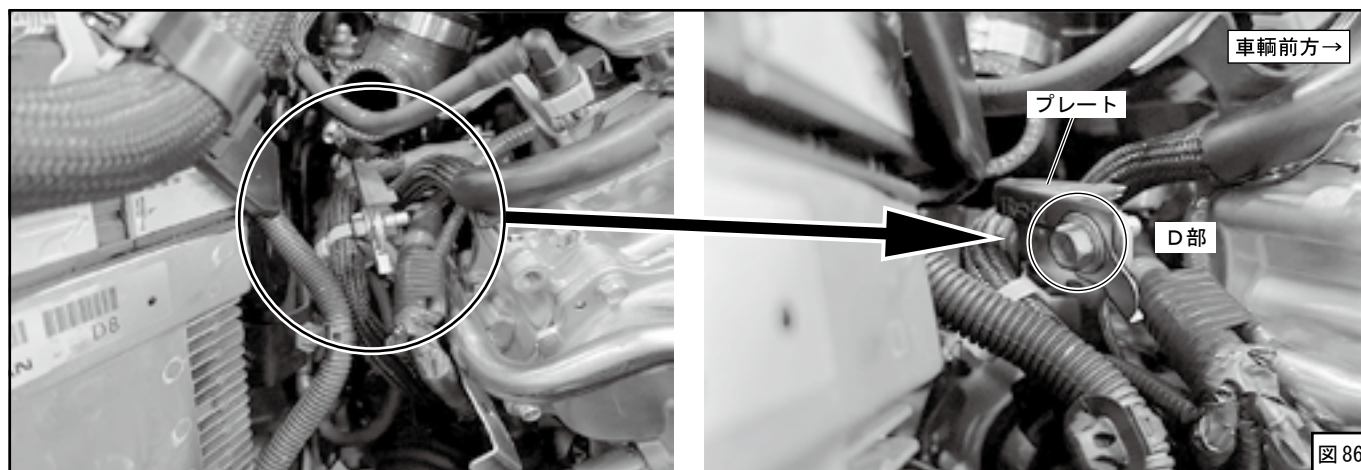
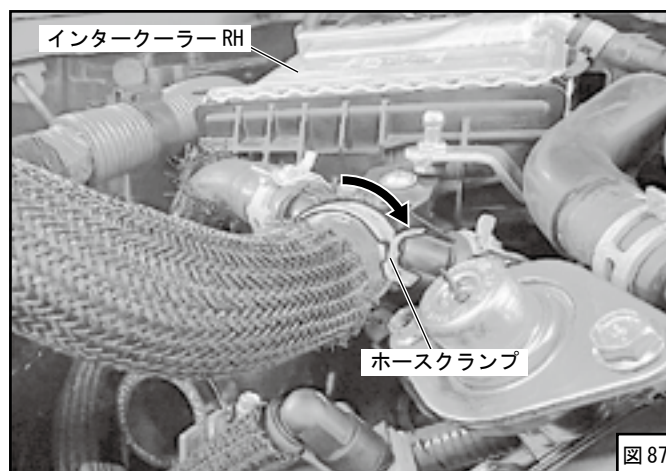


図 85

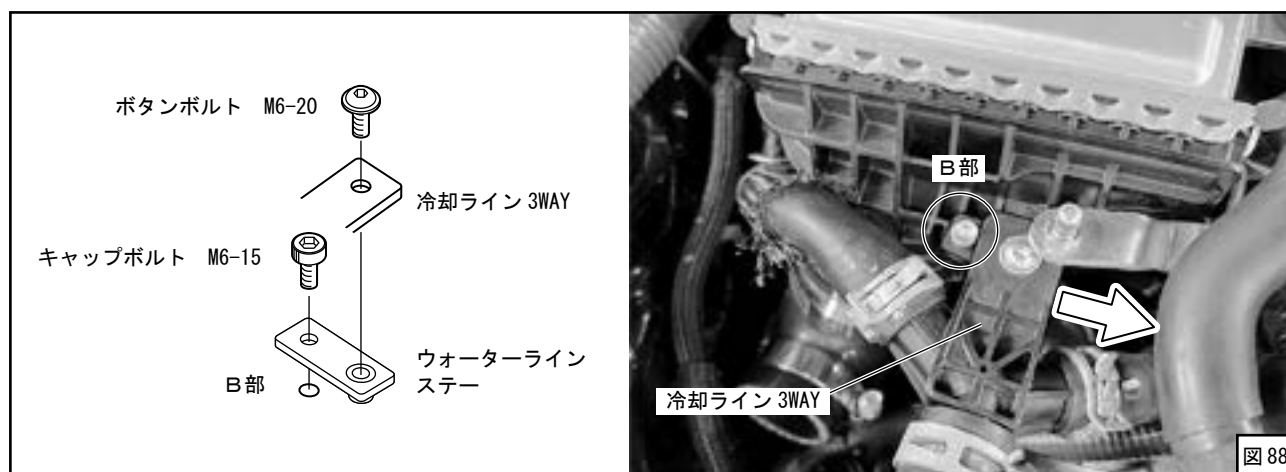
(28) ボルトを外し、D部からプレートを取外してください。(図86)(ボルト、プレートは再使用しません)



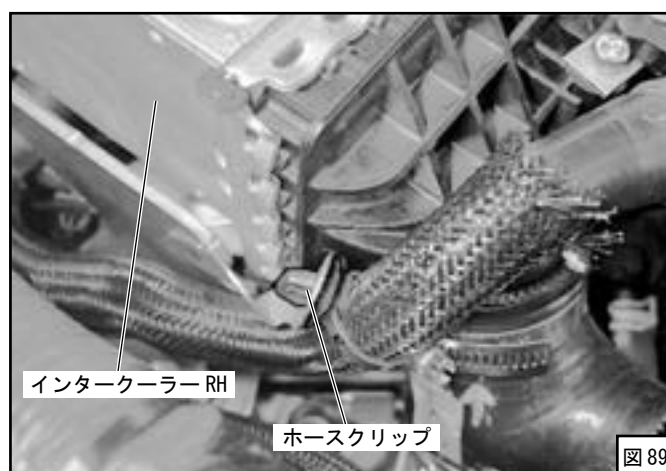
(29) ホースクラップのツメの向きを図87のように変えてください。(図87)



(30) 冷却ライン 3WAY を図88内矢印の向きにずらし、B部にウォーターラインステーを介して取付けてください。
(図88)(締付けトルク: 9.0N・m {0.9kgf・m})



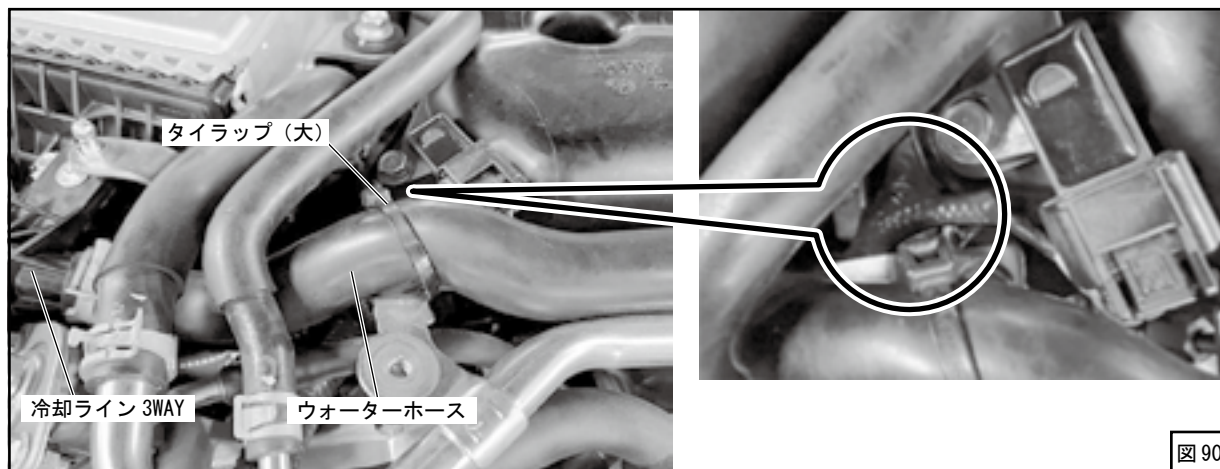
(31) インタークーラー RHにホースクリップを取付けてください。(図89)



- (32) 冷却ライン 3WAY をずらしたことによりウォーターホースが浮き上がりますので、タイラップ（大）で固定してください。（図 9 0）

アドバイス

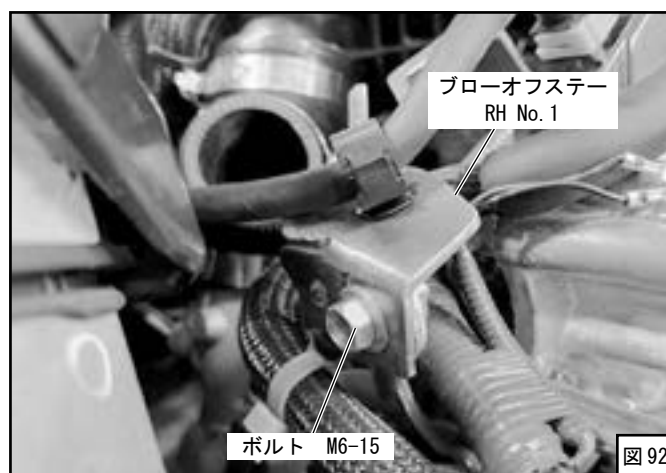
タイラップ固定時に下部にある配線を巻き込まないようにしてください。（図 9 0）



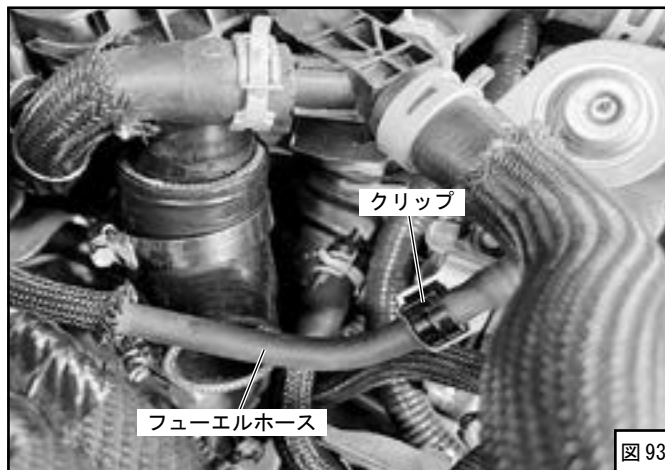
- (33) ブローオフスター RH No. 1 にホルダークリップ（大）を取付けてください。（図 9 1）



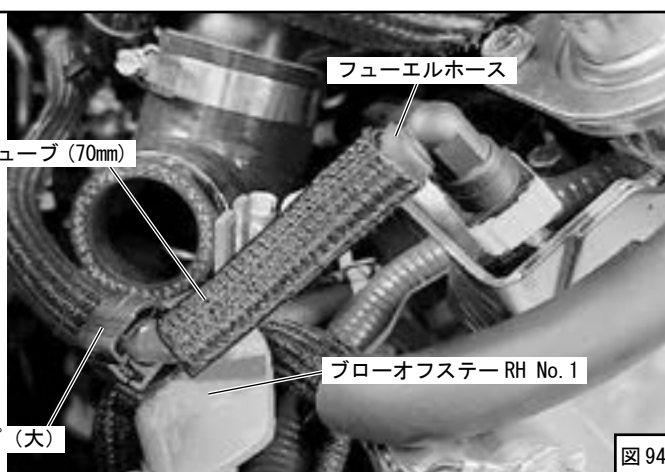
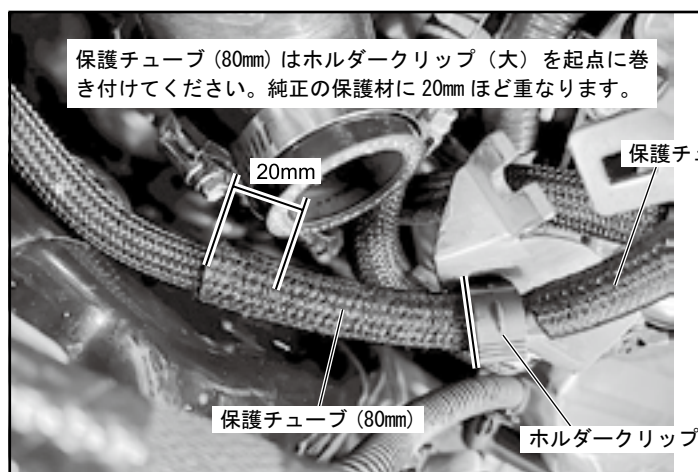
- (34) キットパーツのボルト M6-15 を使用して D 部にブローオフスター RH No. 1 を仮付けしてください。（図 9 2）



(35) フューエルホースをクリップから外し、クリップを車輛から取外してください。(図 9 3)

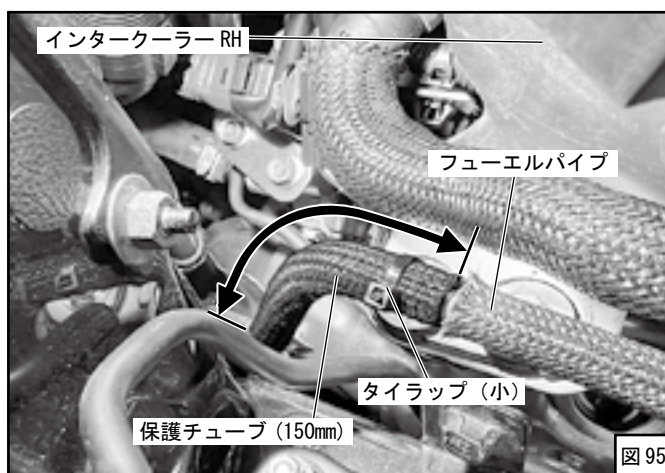


(36) フューエルホースをホルダークリップ (大) で固定し、保護チューブ (70mm) と保護チューブ (80mm) を巻き付けてください。(図 9 4)



(37) フューエルパイプに保護チューブ (150mm) を巻き付け、タイラップ (小) で固定してください。(図 9 5)

(38) タイラップ (小) の余分部分を切断後、タイラップ (小) の切断面が車輛下側を向くように回転させてください。

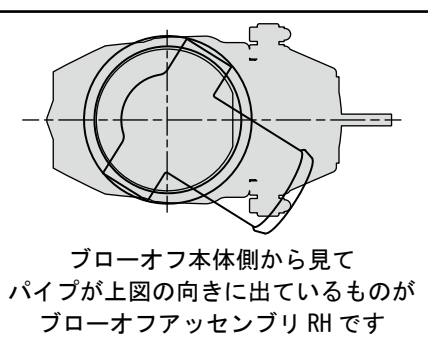
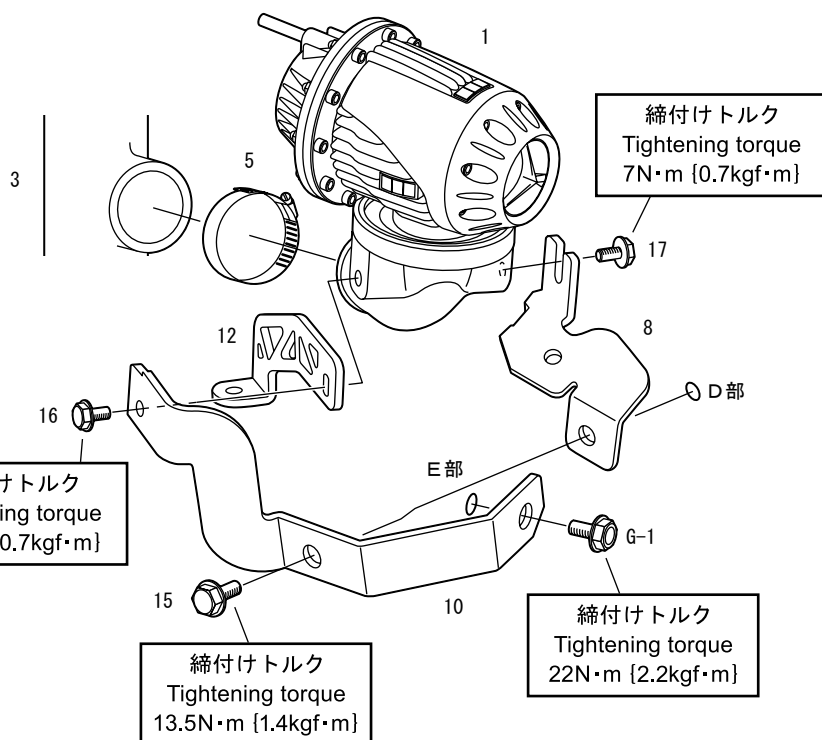


(39) E 部のボルトをゆるめてください。(図 9 6)
(ボルトは再使用します)



(40) ホースバンド #20 を使用してブローオフアッセンブリ RH をブローオフホースに仮付けしてください。(図 9 7)

1. ブローオフアッセンブリ RH
3. ブローオフホース
5. ホースバンド #20
8. ブローオフステー RH No. 1
10. ブローオフステー RH No. 2
12. フューエルホースステー
15. ボルト M8-20
16. ボルト M6-15
17. ボルト M6-12
- G-1. ボルト (純正・E部)



D部とE部の穴位置が合わない場合は、D部が存在するブラケットのエンジン側ボルト2本をゆるめて位置を調整してください。調整後はボルトを締めてください。(締付けトルク : 28.0N·m {2.9kgf·m})

⚠ 注意

ボルトは硬く締まっていますので、ゆるめる際はボルト頭を損傷させないようにしてください。

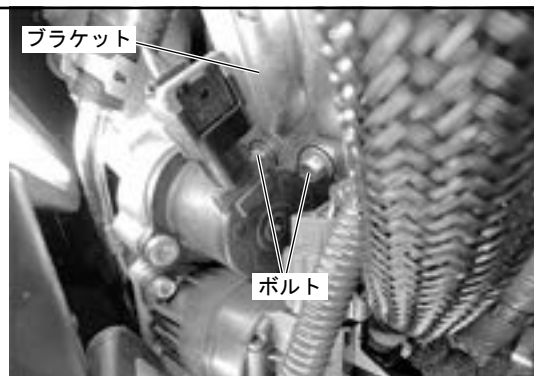
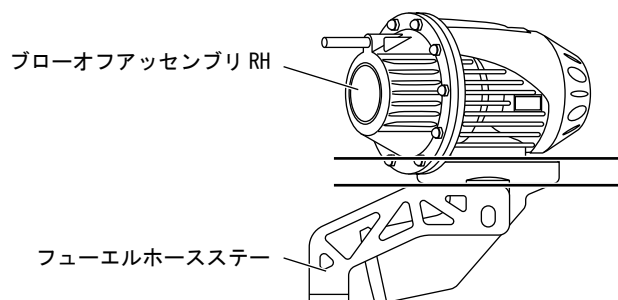


図 97

(41) ブローオフステー RH No. 2 とフューエルホースステーを仮付けしてください。(図 9 7、図 9 8)



ブローオフアッセンブリ RH のフランジ面と
フューエルホースステーの上端が
平行になるように取付けてください

図 98

- (42) 各ステーやブローオフアッセンブリ RH がボディなどと干渉しないように位置を決め、ホースバンド・ボルト類を本締めし、固定してください。(図 97)
ブローオフ本体とウォーターホースの間隔を 3mm 以上確保するようにしてください。(図 99)

アドバイス

(30) で取付けたウォーターラインステーの取付け角度でも間隔を調整できます。

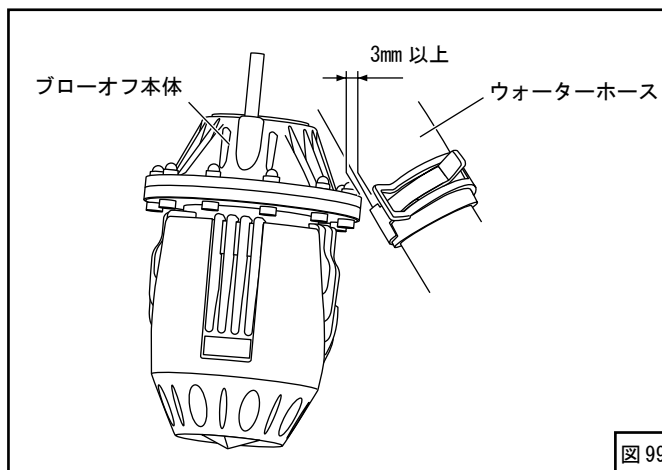


図 99

- (43) フューエルホースをフューエルホースステーに取付けたホルダークリップ (大) で固定してください。(図 100)

各部推奨間隔

①: フューエルホース - 車体	10mm
②: ホルダークリップ (大) - 車体	15mm
③: ホルダークリップ (大) - ブレーキ配管	15mm

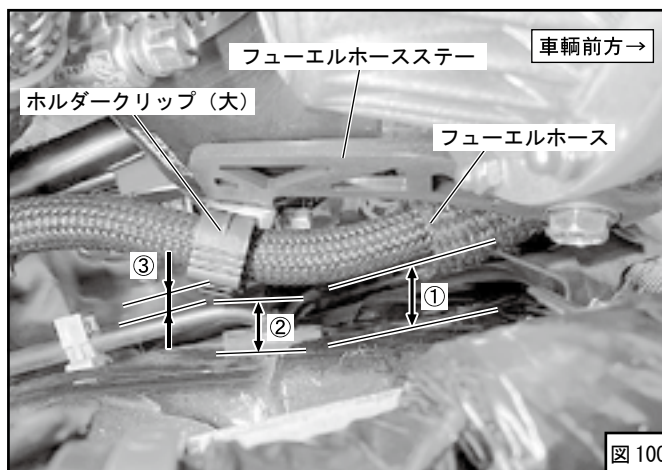


図 100

- (44) C C クランプをインタークーラー RH 下のホースに取付け、もう一方でフューエルパイプを固定してください。向き、位置は図 101 を参照してください。(図 101)

アドバイス

回り止めのため C C クランプのツメ部を図 101 丸印部に当てるようにしてください。

- (45) C C クランプずれ防止のため、タイラップ (大) をホースに取付けてください。(図 101)

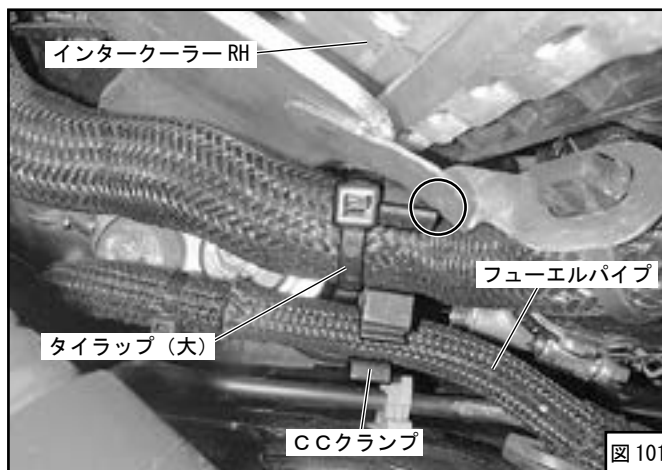


図 101

⚠注意

図 102 矢印部の間隔を 15mm 以上確保できるようにフューエルパイプの配管を調整してください。それ以外の部分でもフューエルパイプが他と接触しないようにしてください。フューエルパイプ破損による火災のおそれがあります。

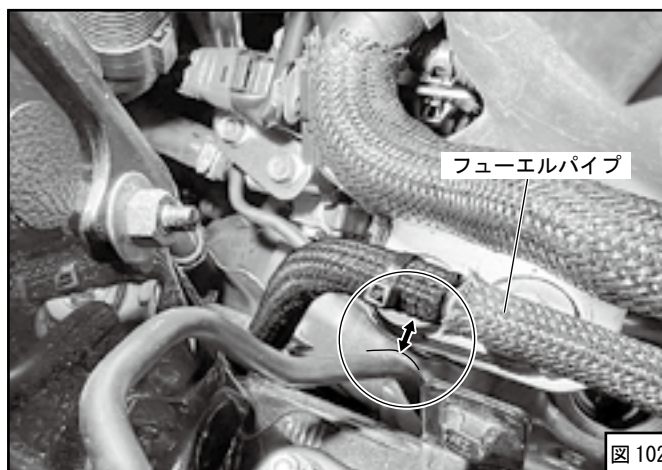
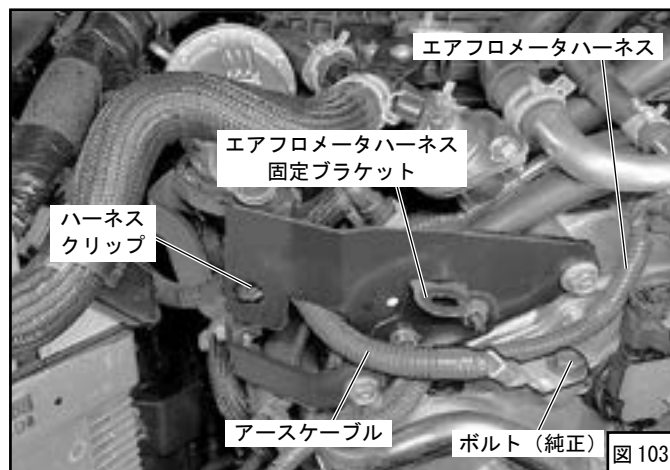


図 102

(46) 純正ボルトを使用してアースケーブルを取付け、ハーネスクリップで固定してください。(図 103)
(締付けトルク : 13.5N・m {1.4kgf・m})

(47) エアフロメータハーネス固定ブラケットにエアフロメータハーネスのクリップを取付けてください。(図 103)

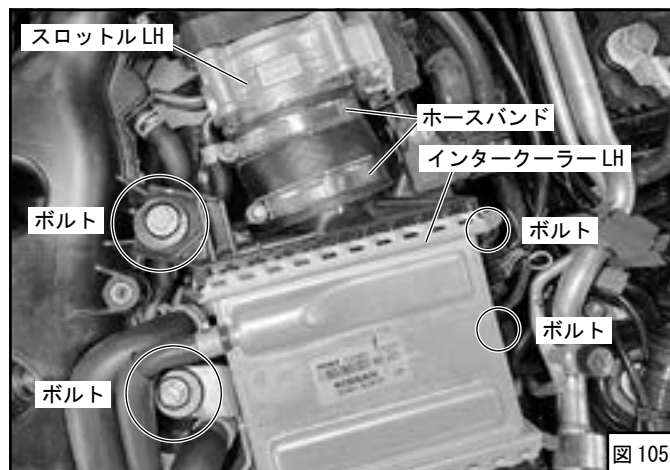


(48) エアフロメータセンサにコネクタを接続し、エアクリーナケース RH をサクシオンホースに取付けてください。サクシオンホースのロックリングが確実に固定されていることを確認してください。

(49) 純正ボルトを使用してエアクリーナケース RH を固定してください。(締付けトルク : 5.5N・m {0.55kgf・m})
(図 104)

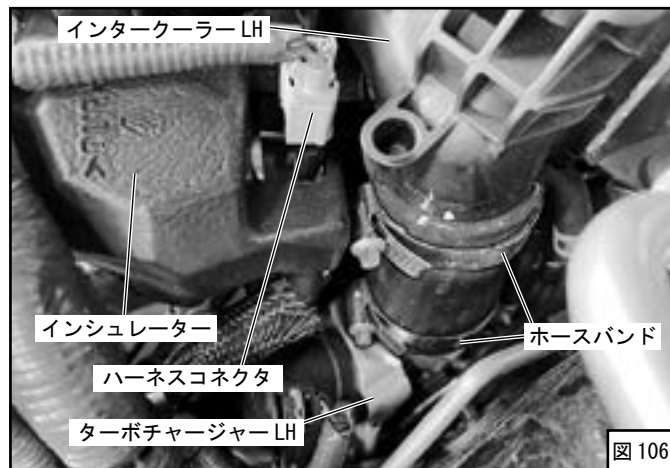


(50) インタークーラー LH 固定用のボルト 4 本を外し、スロットル LH 間とのホースバンドをゆるめてください。
(図 105) (ボルトは再使用します)

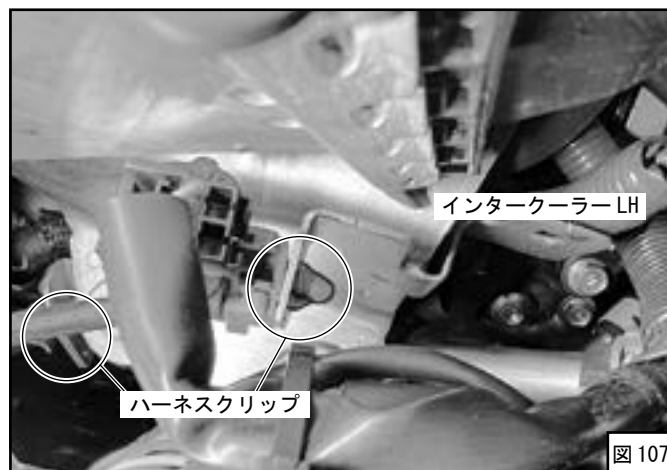


(51) インタークーラー LH とターボチャージャー LH との間のホースバンドをゆるめてください。(図 106)

(52) 図 106 内のハーネスコネクタを取外し、インシュレーターを取外してください。(図 106)
(インシュレーターは再使用します)



- (53) インタークーラー LH 下の固定点からハーネスクリップを外してください。(図 107)



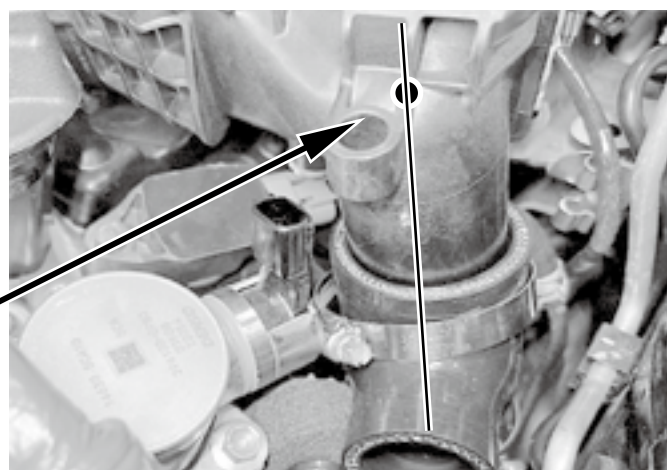
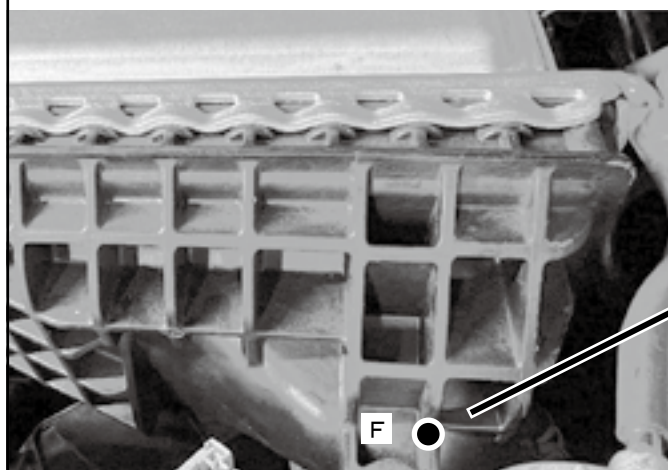
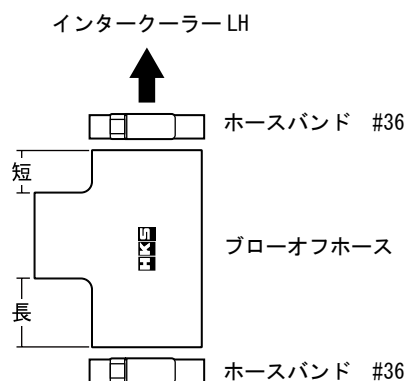
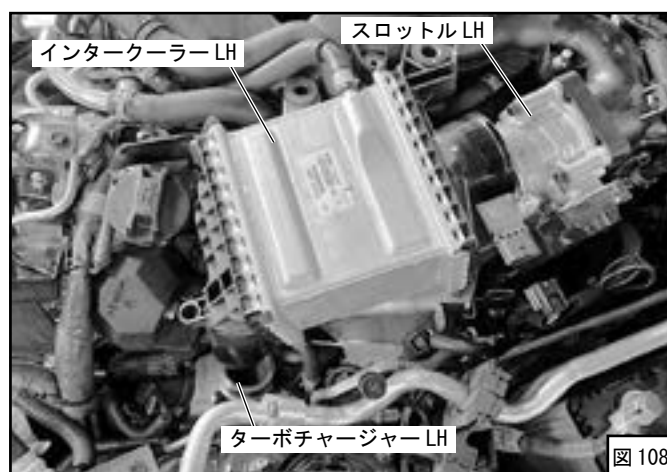
- (54) インタークーラー LH を持ち上げ、スロットル LH との間のホースを取外してください。(図 108)
(ホース、ホースバンドは再使用します)
インタークーラー LH を車輛から取外す必要はありません。

- (55) インタークーラー LH とターボチャージャー LH との間のホースを取外してください。(図 106、図 108)
(ホース、ホースバンドは使用しません)

アドバイス

取付け、取外し作業を行う際には、パイプ・ホース類に異物が入らないようにしてください。

- (56) インタークーラー LH とターボチャージャー LH との間にブローオフホースを仮付けしてください。(図 109)



ブローオフホースの分岐の向きはインタークーラー LH の F 点からホース中心に向けた直線上になるようにしてください。

図 109

(57) 純正保護メッシュの終端部、貼付け箇所を脱脂してスポンジテープを 80mm にカットして貼付けてください。

(図 1 1 0)



(58) インタークーラー LH とスロットル LH との間の純正ホースを元のように取付けてください。(図 1 1 1)

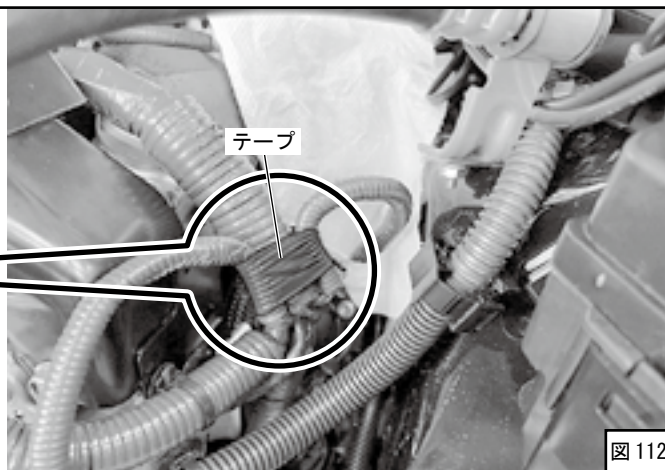
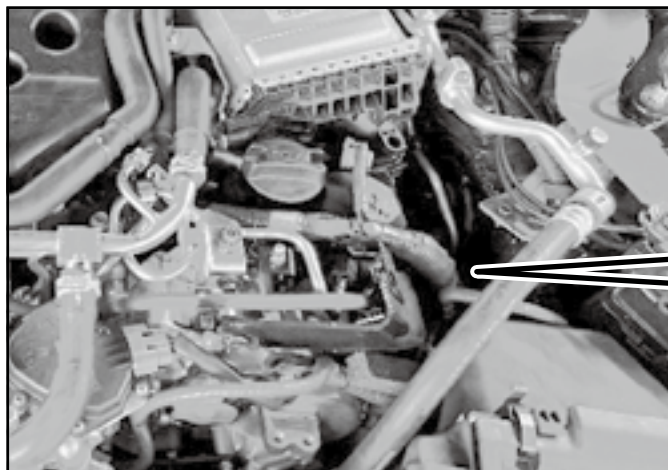
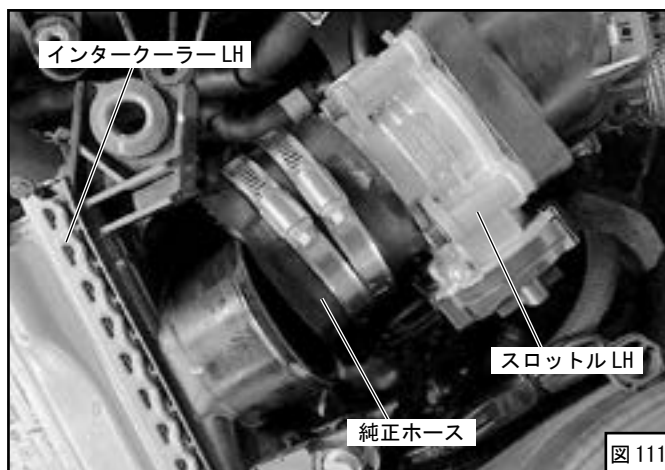
その際、ホースに刻印されている△マークが上方、スロットル LH 側にくるようにしてください。

(59) ホースの取付け具合を確認しながら純正ボルト 4 本を使用してインタークーラー LH を元のように取付けてしてください。(締付けトルク : 24N・m {2.4kgf・m})

(60) 各ホースバンドを固定してください。

(61) ハーネスを束ねているテープを外してください。

(図 1 1 2)



(62) リサキュレーションハーネスを図 1 1 3 のように取回し、ウエストゲートアクチュエーターハーネスの内側を通してタイラップ (大) で固定してください。(図 1 1 3)



(63) エアフロメータハーネスを図 1 1 4 のように取回し、タイラップ (大) で固定してください。(図 1 1 4)

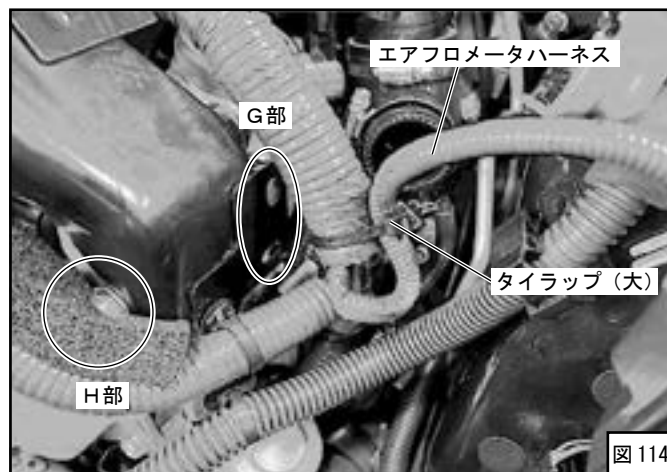


図 114

(64) ホースバンド #20 を使用してブローオフアッセンブリ LH をブローオフホースに仮付けしてください。(図 1 1 5)

(65) G 部にブローオフスTEE LH No. 1 を、H 部にブローオフスTEE LH No. 2 を仮付けしてください。(図 1 1 4、図 1 1 5)

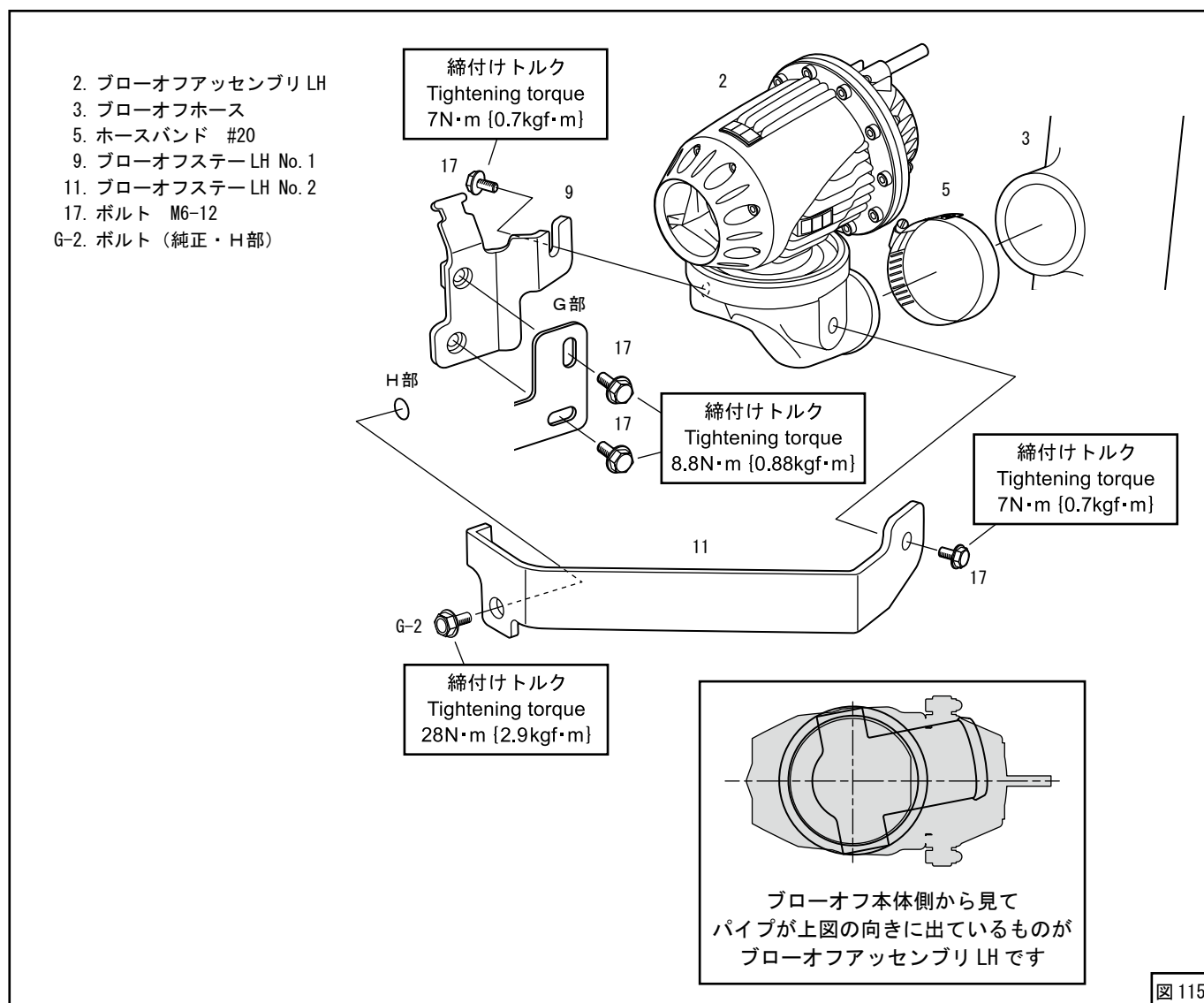


図 115

(66) 各ステーやブローオフアッセンブリ LH がボディなどと干渉しないように位置を決め、ホースバンド・ボルト類を本締めし、固定してください。(図 1 1 5)

ブローオフ本体と各所の間隔を図 1 1 6 のように確保するようにしてください。(図 1 1 6)

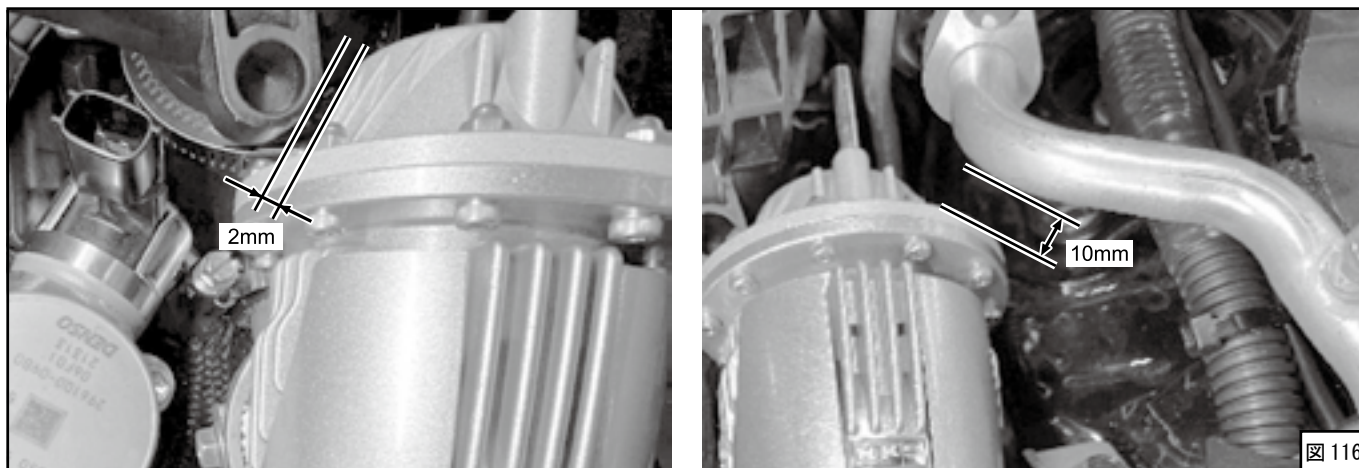


図 116

(67) タイラップ (大) を使用して純正ハーネスをブローオフステー LH No. 1 に固定してください。(図 1 1 7)

(68) 外したインシュレーターやハーネスコネクタ、ハーネスクリップ類を元のように取付けてください。

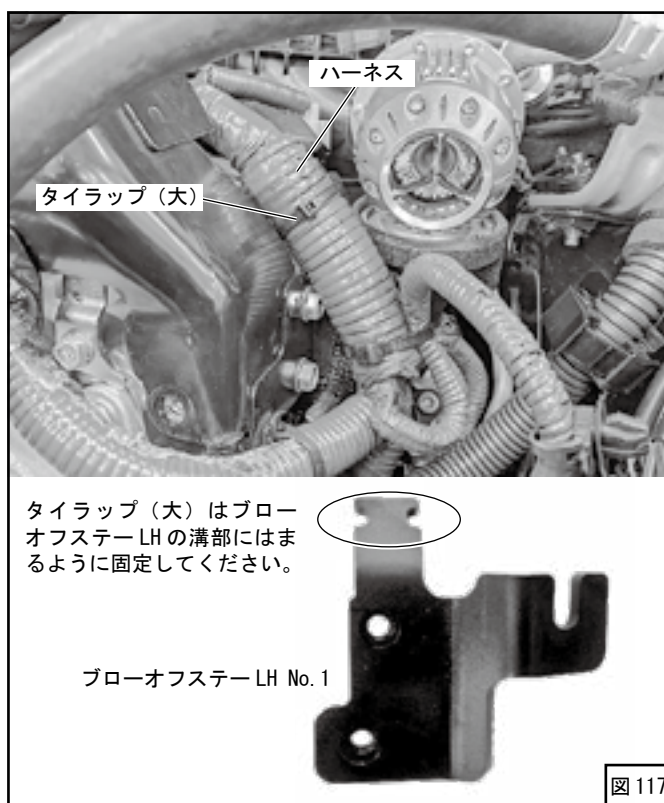


図 117

(69) エアフロメータセンサにコネクタを接続し、エアクリーナケース LH をサクシオンホースに取付けてください。サクシオンホースのロックリングが確実に固定されていることを確認してください。

(70) 純正ボルトを使用してエアクリーナケース LH を固定してください。(締め付けトルク : 5.5N・m {0.55kgf・m})
(図 1 1 8)

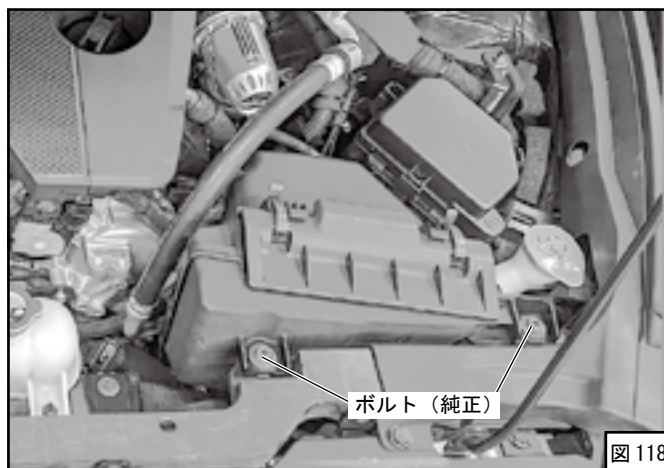


図 118

- (71) タイラップ（大）を使用してブローオフステー LH No. 2 にエアフロメータハーネスを固定してください。
 (図 1 1 9) エアフロメータハーネスに無理な力がかからないよう余裕を持たせて固定してください。

ここまでの作業が終わりましたら下の
 [3. ブローオフ配管取付け] に移動してください。

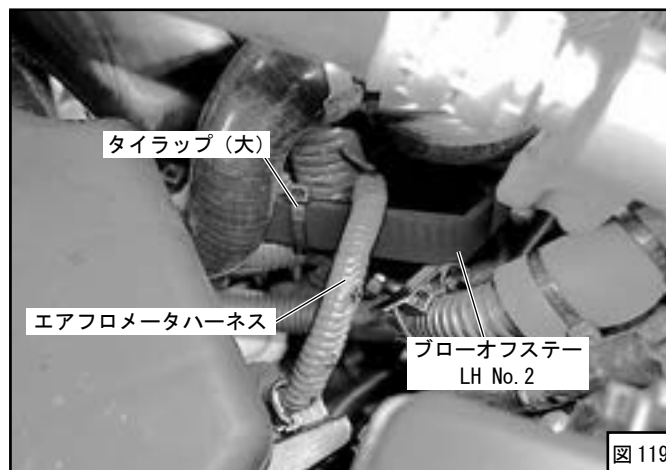


図 119

3. ブローオフ配管取付け

- (1) ホースφ4 をカットしてキットパーツを接続してください。(図 1 2 0)
 各ホースのニップル接続部はタイラップ（小）にて固定してください。

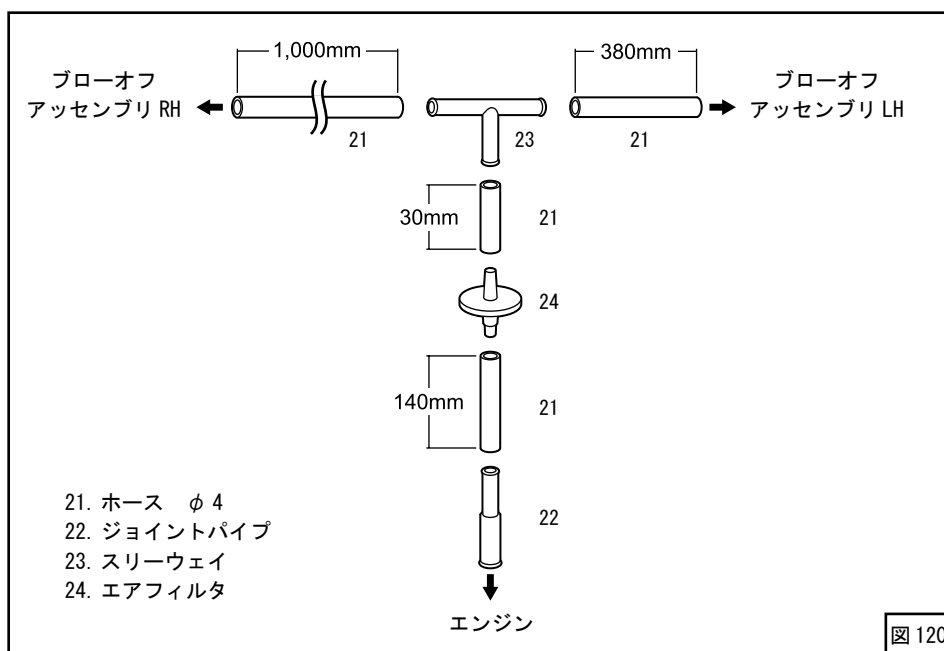


図 120

- (2) バキュームホースを取外してください。(図 1 2 1)
 (バキュームホース、ホースクランプは再使用しません)

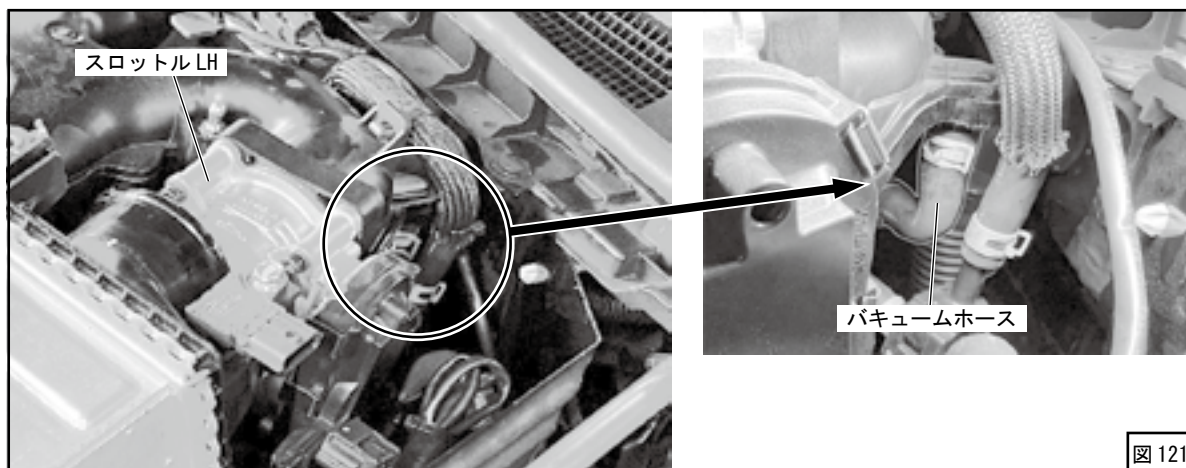


図 121

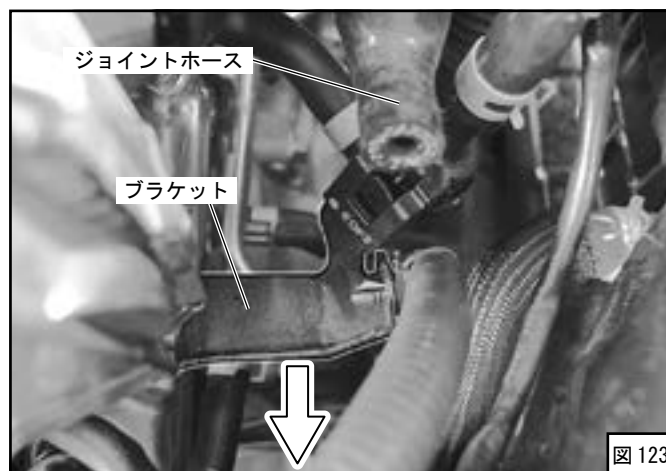
(3) バキュームホースを外した箇所にキットパーツを使用してジョイントホースを取付けてください。(図 1 2 2)

アドバイス

ニッブルへ取付けにくい場合は挿入助剤等を使用してください。



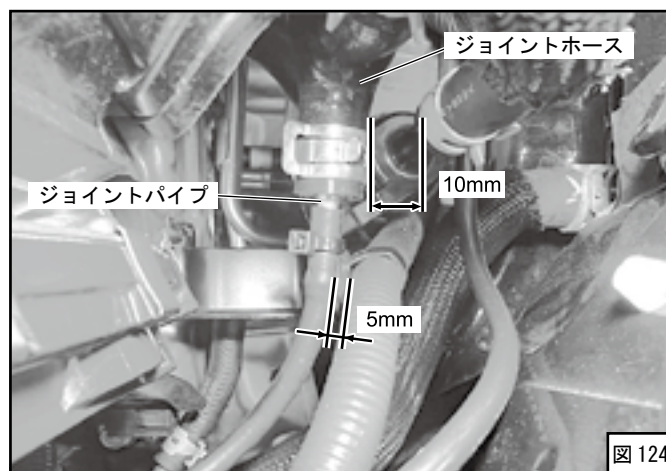
(4) 純正ブラケットを下方に押し曲げてください。
(図 1 2 3)



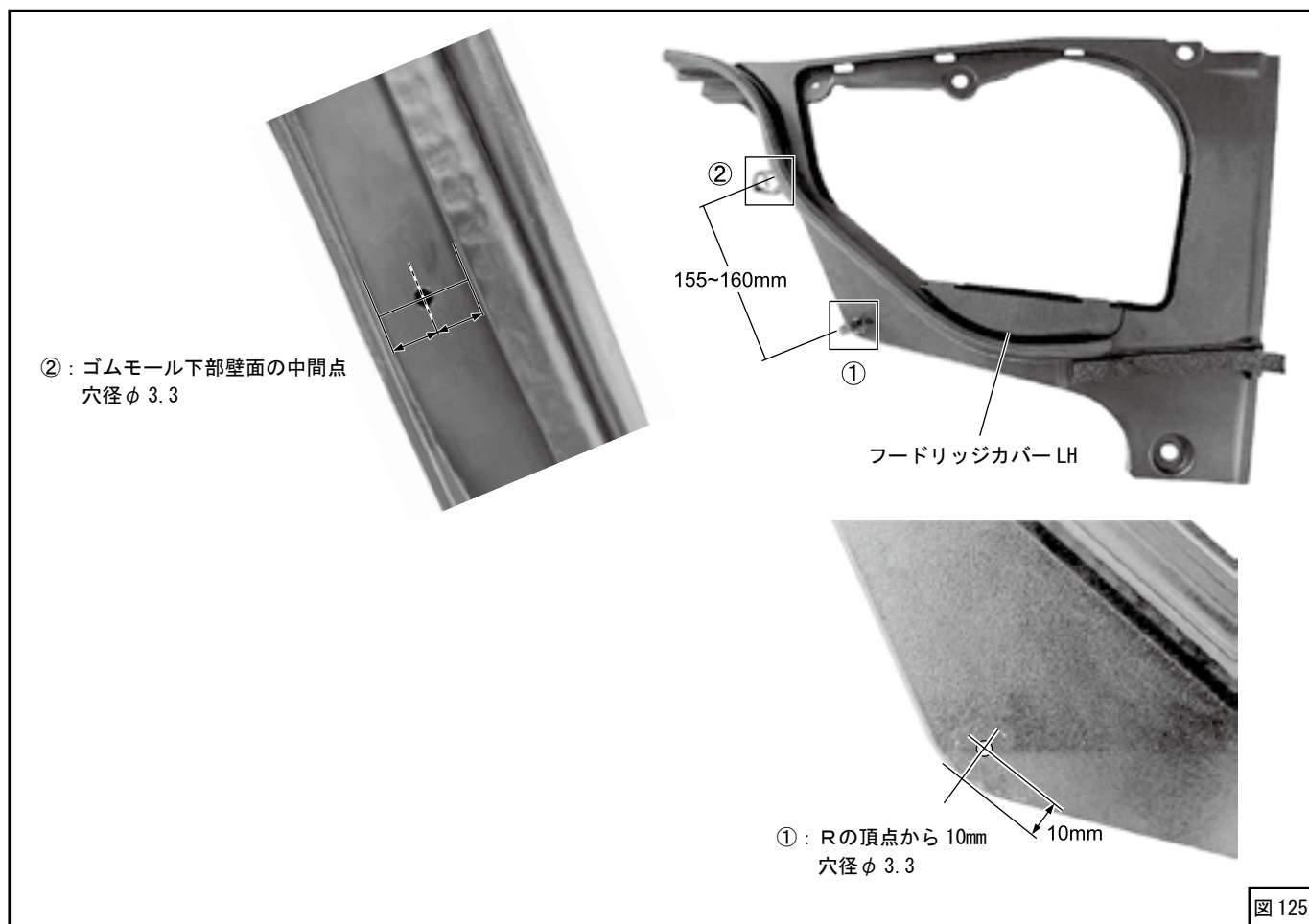
(5) ジョイントホース J 部に (1) で組み付けたジョイントパイプを接続してください。(図 1 2 0、図 1 2 4)
ホースクランプφ6のツメの向きは車両上方に向けてください。
図 1 2 4 の数値に間隔が確保できない場合は図 1 2 3 の純正ブラケットを更に押し曲げてください。

アドバイス

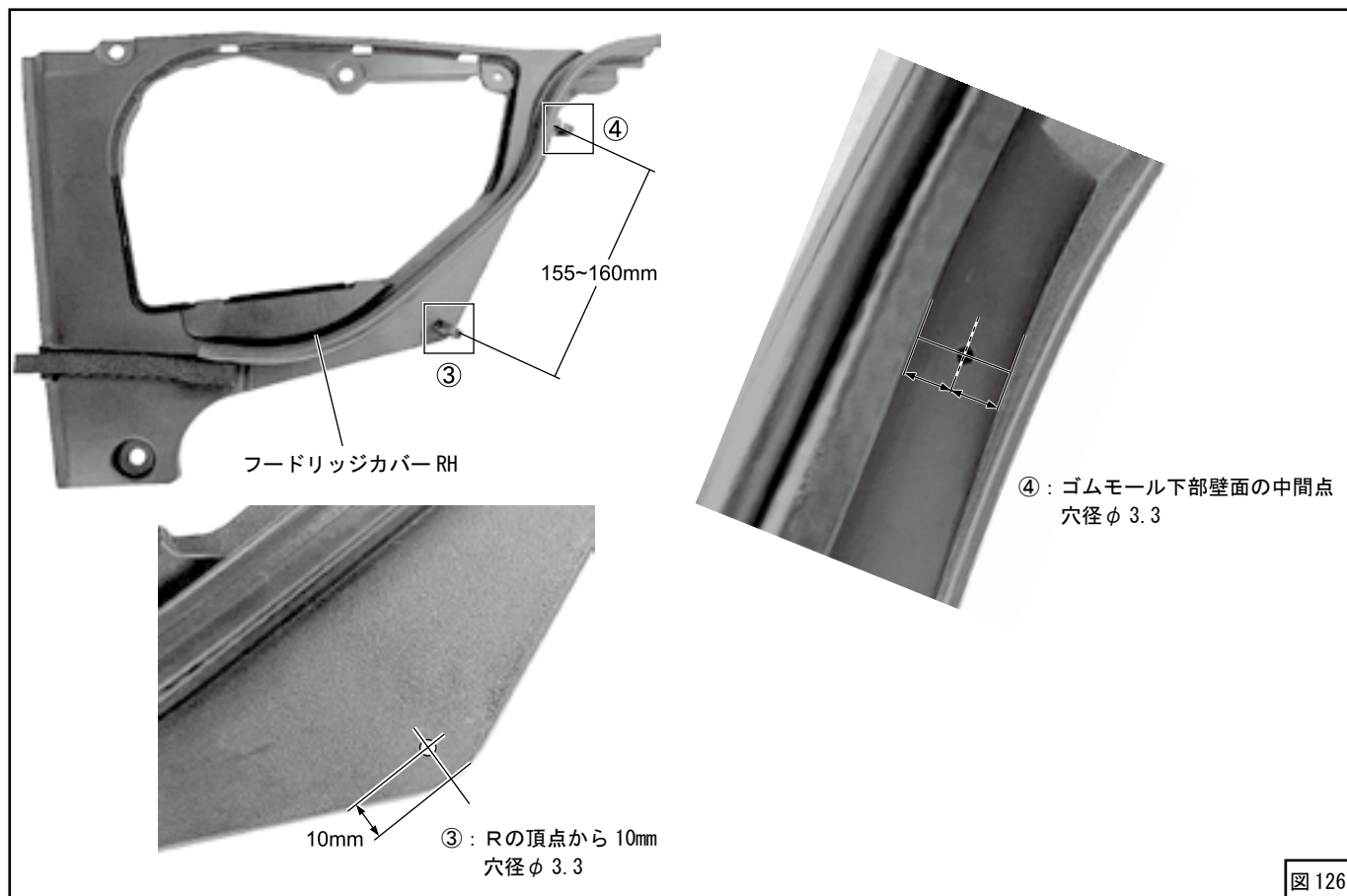
ジョイントパイプが取付けにくい場合は挿入助剤等を使用してください。



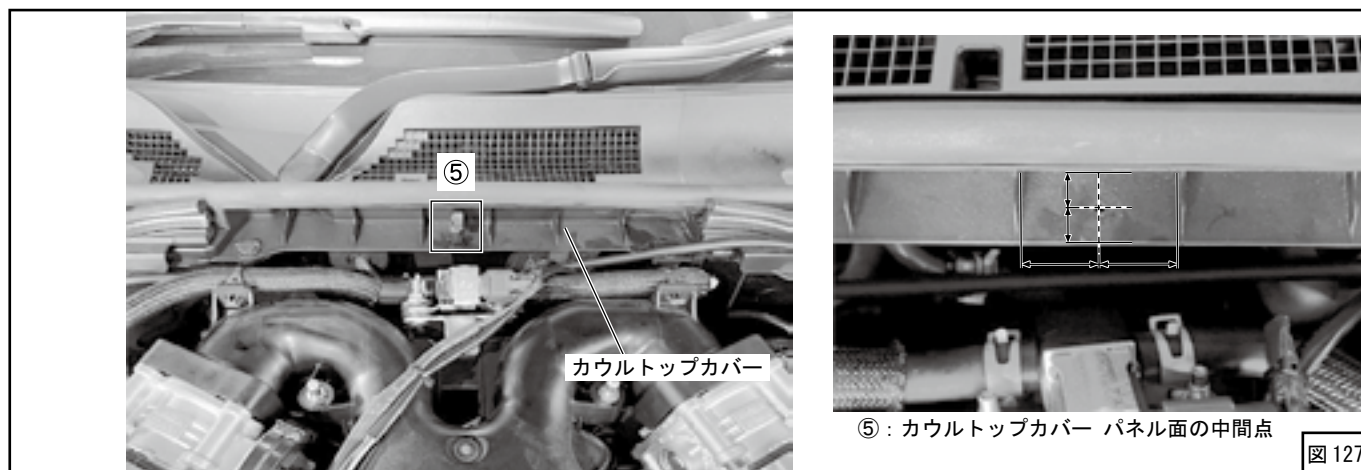
(6) フードリッジカバー LH に穴開け加工をし、ホルダークリップ（小） 2 個を取付けてください。（図 1 2 5）



(7) フードリッジカバー RH に穴開け加工をし、ホルダークリップ（小） 2 個を取付けてください。（図 1 2 6）



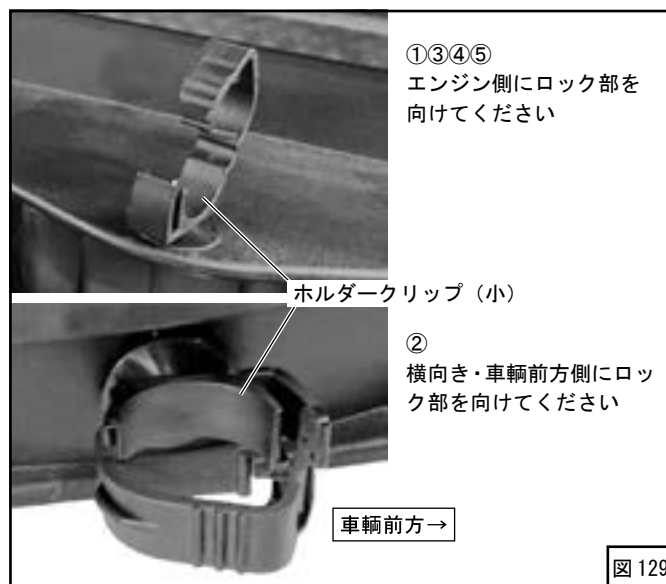
(8) カウルトップカバーに穴開け加工をし、ホルダークリップ（小） 1 個を取付けてください。（図 1 2 7）



(9) 左右のフードリッジカバーを元のように取付けてください。（図 1 2 8）

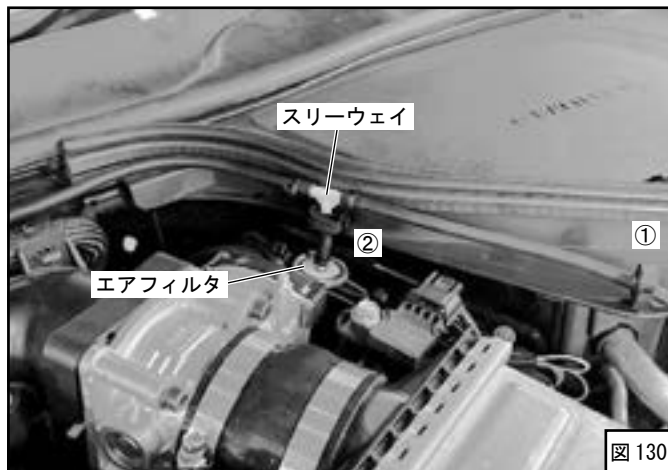


(10) 取付けたホルダークリップ（小）を図 1 2 9 の向きにしてください。（図 1 2 9）



(11) スリーウェイとエアフィルタの間のホースφ4をホルダークリップ②で固定してください。(図130)

(12) ブローオフアセンブリ LH に向かうホースφ4をホルダークリップ①で固定してください。(図130)



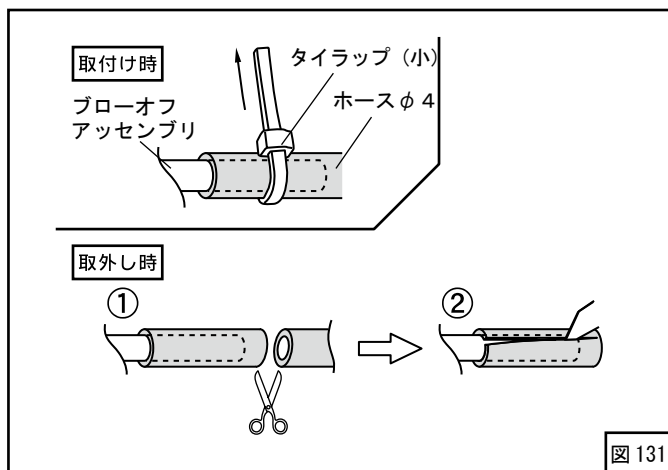
(13) ブローオフアセンブリ LH のφ4 ニップル部にホースφ4を取付け、タイラップ(小)で縛り、固定してください。(図120、図131)

アドバイス

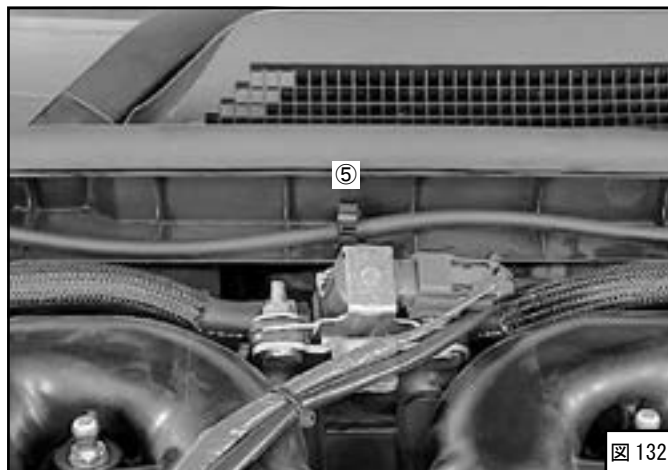
ブローオフアセンブリを取外す時など、ホースφ4をブローオフアセンブリから抜く際は、タイラップ(小)を外した後、一度ホースφ4を切断し切り込みを入れてから取外してください。(図131)

ホースφ4を引っ張ったり、プライヤー等でこじって抜かないでください。

ブローオフアセンブリが破損する恐れがあります。



(14) ブローオフアセンブリ RH に向かうホースφ4をホルダークリップ⑤で固定してください。(図132)



(15) ブローオフアセンブリ RH に向かうホースφ4をホルダークリップ③、④で固定してください。(図133)



- (16) ブローオフアッセンブリ RH のφ 4 ニップル部にホースφ 4 を取付け、タイラップ (小) で縛り、固定してください。(図 1 2 0、図 1 3 4)

アドバイス

ブローオフアッセンブリを取外す時など、ホースφ 4 をブローオフアッセンブリから抜く際は、タイラップ (小) を外した後、一度ホースφ 4 を切断し切り込みを入れてから取外してください。(図 1 3 4)

ホースφ 4 を引っ張ったり、プライヤー等でこじって抜かないでください。

ブローオフアッセンブリが破損する恐れがあります。

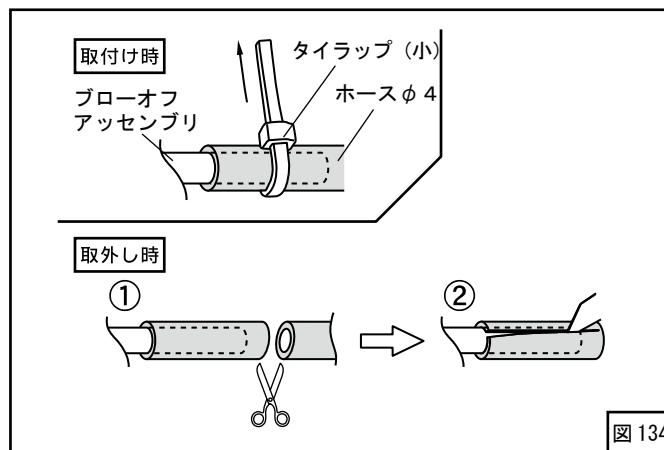


図 134

- (17) 図 1 3 5 を参照に貼付け箇所を脱脂してエンジンコントロールハーネスにスポンジテープを貼付けてください。(図 1 3 5)



図 135

- (18) 取外したコネクタ類が正しく接続されているか確認してください。
- (19) エンジンカバーを元のように取付けてください。(締付けトルク : 5.5N・m {0.55kgf・m})
- (20) タワーバーを元のように取付けてください。(締付けトルク : 52N・m {5.2kgf・m})

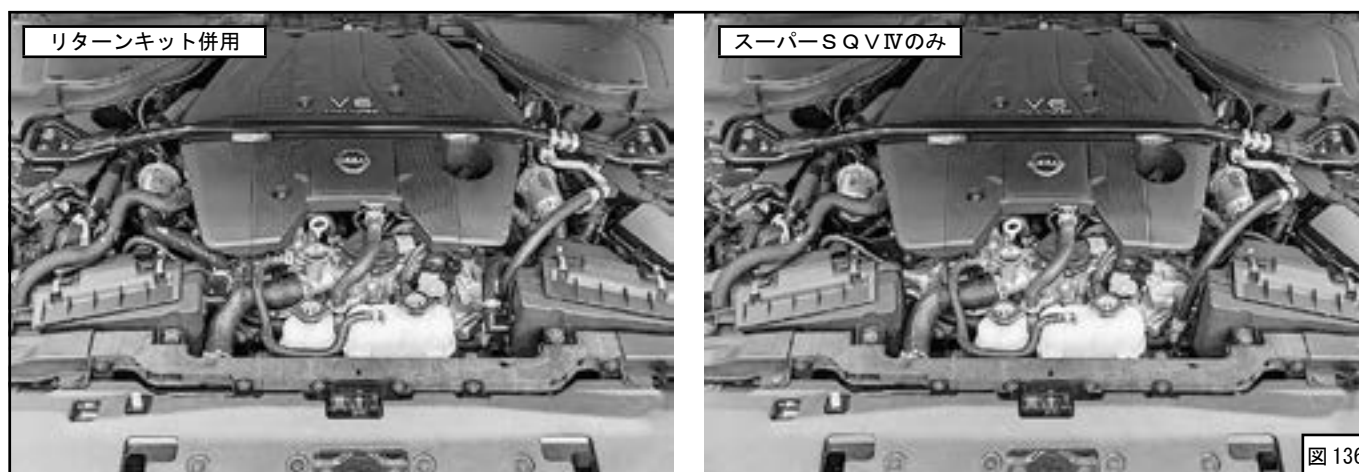


図 136

- (21) バッテリーのマイナス端子 (－) にケーブルターミナルを取付けてください。

取付け終了後の確認

エンジン始動前の確認

確認項目	確認
パイプ・ホース等の配管が間違っていないか	
バッテリーのマイナス端子にケーブルターミナルが確実に取付けられているか	
ホースバンドが確実に締まっているか	
ボルト・ナット類の締め忘れはないか	
取付けた部品が他の部品と干渉していないか	

エンジン始動後の確認

確認項目	確認
各部からエア漏れがないか	
軽く2,3度空吹かしを行いブローオフアッセンブリが作動しているか	
部品による干渉音はないか	
アイドリング状態に異常はないか	
エンジンを停止し、ボルトが緩んでいないか (再度取付部の締付け確認)	

維持・管理

快適に運転していただくために、お車を運転する前には必ず日常点検を行ってください。

- 安全な整備はドライバーの責任です。必ず実施してください。
- ユーザーマニュアルに記載されている事項以外は専門業者に依頼してください。
- スーパーS Q V IVの性能を維持するため、エアフィルタの交換は定期的に行ってください。

(交換の目安)3,000～5,000km または3ヶ月～6ヶ月

但し、使用方法及び環境により条件が異なりますので汚れ具合によっては早めの交換をおすすめします。

交換エアフィルタは別売りです。 品名 スーパーS Q V交換フィルタ

- 故障等の修理はお客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
- 走行中、異音・異臭・振動等の異変があった場合には、ユーザーマニュアルに従って対処してください。
- 本製品を譲られる時は、必ず次のオーナーのために取扱説明書をお渡しください。
- 本製品をお車から取外す際には、必ず専門業者に依頼してください。

アフターサービスについて

本製品に関するお問い合わせは、専門業者またはお買上の販売店までお問い合わせください。

本書の記載内容は、予告無しに変更することがありますのであらかじめご了承ください。



株式会社 エッチ・ケー・エス
〒418-0192 静岡県富士宮市北山7181
<https://www.hks-power.co.jp/>

禁無断複写・転載
Unauthorized reproduction is strictly prohibited.